

岩宿駅を核とした 総合的なまちづくりプラン

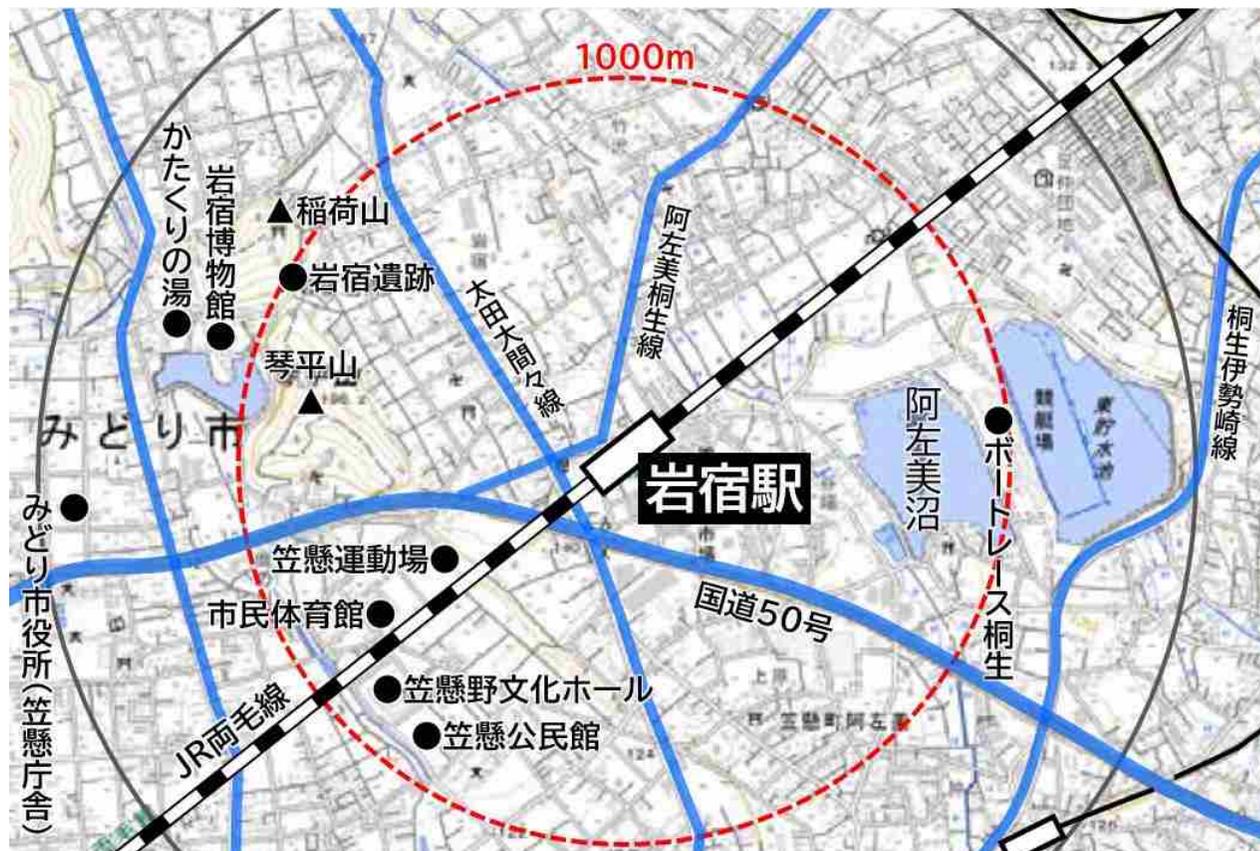


みどり市
令和5年3月

0. 岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプランとは

(1) 岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプランとは

- 岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン（以下、まちづくりプランという）は、岩宿駅からおおむね1 km圏を対象として、地域との共創で、まちの利便性や魅力を向上し、公共交通や生活に必要なサービス機能が成り立つ「持続可能なまちづくり」を実現するための計画です。
- 検討に当たっては、アンケート調査や市民ワークショップを通じて得られた市民・来訪者ニーズを把握した上で、プランの作成を行ったものです。



■対象エリア図

0. 岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプランとは

(2) 整備方針と整備計画

- まちづくりプランは、整備に向けての方向性を示した「整備方針」と短期的な取組の具体的な計画を示した「整備計画」の2部構成になります。

岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン

地域との共創で、まちの利便性や魅力を向上し、公共交通や生活に必要なサービス機能が成り立つ「持続可能なまちづくり」を実現するための計画

整備方針（4頁）

ワークショップやアンケート調査等を通じ、市民・地域住民の意見をもとに、目指すまちづくりや、今後の整備の方向性を示す。
市の方向性や既存事業・計画との整合性を図りつつ、将来的な動向も踏まえて、市と地域が共に同じ方向に進むための指針。

整備計画（43頁）

整備方針のうち、短期的な取組が必要な事項、優先度の高い事項を中心に、具体的な整備に向けた計画を記載。
市の財源を考慮しながら、関係する事業者等の意向、スケジュールを踏まえ、整備方針をもとに、ワークショップやパブリックコメントで意見を頂きながら、市が策定。

■ 整備方針と整備計画の関係

0. 岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプランとは

(3) 検討体制

- 検討に当たっては、全4回にわたる「岩宿駅周辺まちづくりワークショップ」を踏まえて行い、「整備方針」は、3回のワークショップの結果を踏まえて作成しました。
- 第4回ワークショップでは、これまでの成果を市長に提言しました。

ワークショップの目的

駅利用者や地域住民などの地域との関わりが深い方から、誰もが感じているような客観的な意見、アイデア、要望等を伺い、地域のにぎわいづくりや拠点施設へのアクセシビリティ向上といった、目指すべきまちの方向性を整理し、誰もが暮らしやすく交流が盛んとなる「まちづくり」のプランを取りまとめるとともに、市民と協働した「まちづくり」に向けて意識の共有と醸成を図ることを目的とします。



まち歩き



グループ発表



グループワーク



提言



■ワークショップ開催風景

岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン

「整備方針」編

整備方針編 目次

1. 岩宿駅周辺地区の概要	6
(1) 市の中の位置付け	6
(2) 周辺施設の立地状況	7
(3) 岩宿駅の現状	8
2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ	9
(1) アンケート調査結果から見た市民ニーズ	9
(2) ワークショップ結果から見た市民ニーズ	18
(3) パネル展示・パブリックコメントの実施状況	22
3. 岩宿駅周辺まちづくりの方向性	23
(1) 岩宿駅周辺で目指すまちづくり像	23
(2) まちづくりの方向性	24
4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針	25
5. 整備方針の実践に向けて	35
(1) 優先度の考え方	35
(2) 想定される役割分担とスケジュール	36
参考：市民ニーズと整備方針の関係	39

1. 岩宿駅周辺地区の概要

(1) 市の中の位置付け

阿左美地域の将来像

豊かな緑と歴史に彩られたにぎわいのまち

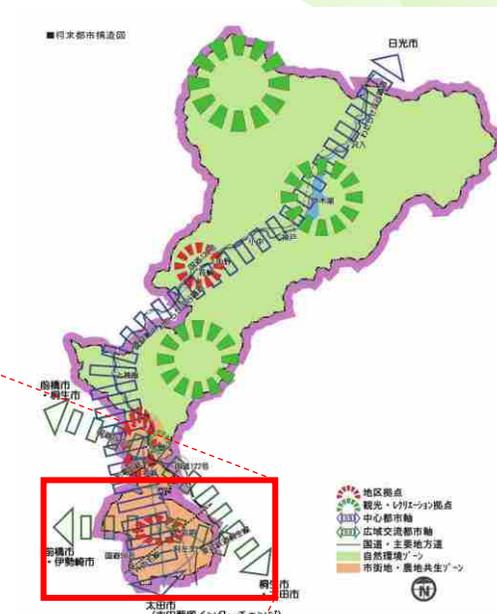
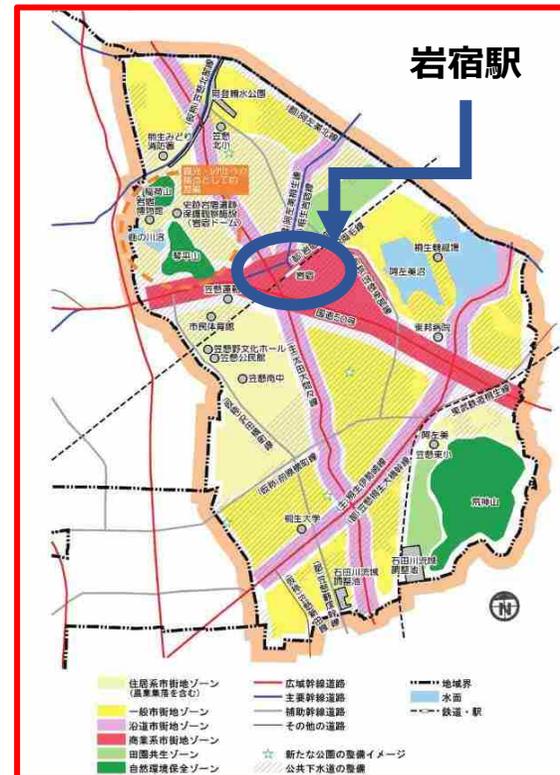
- ✓ 田園環境との共生、防災などに配慮した田園都市にふさわしいゆとりある良質な住宅・宅地
- ✓ 農業集落に適した居住環境の整備と、緑豊かな田園住宅地の形成
- ✓ 岩宿遺跡周辺においては、豊かな歴史資源や稲荷山、琴平山などの自然資源と調和した環境を形成
- ✓ 後背の居住環境や田園環境への影響に配慮しながら商業施設などの沿道サービス施設の立地誘導を図り、都市としての利便性の向上



岩宿駅周辺
=みどり市の「**地区拠点**」の1つ

地域住民の生活と地域の発展を支える中心

阿左美地域拡大



出典)みどり市都市計画
マスタープラン

1. 岩宿駅周辺地区の概要

(2) 周辺施設の立地状況

岩宿遺跡周辺



- 岩宿遺跡、公園、博物館等、市内を代表する施設が集積。歴史的資源の有効活用によるにぎわいの創出と安全で快適な環境整備が行われており、市の観光・レクリエーション拠点に位置付けられている。

駅西側



- 鉄軌道北側にはグラウンド、体育館(指定避難所)、南側には文化ホール、公民館等、公共施設が集積。



ボートレース場周辺



- 岩宿駅南側への送迎バス有。ボートレース場周囲は駐車場が立地。
- 阿左美沼周辺は自然的要素に富んだ良好な景観を保存・維持することが必要な地区として、阿左美風致地区に指定。

1. 岩宿駅周辺地区の概要

(3) 岩宿駅の現状

- 岩宿駅は、みどり市内で最も利用者数が多いが、本数はあまり充実していない

①利用者数・運行本数

みどり市内主要駅の乗降人数(H30年度)



■みどり市内主要駅の乗降人数 (H30)

■岩宿駅の運行本数

※日中は10時～15時ごろを対象

大間々駅	桐生方面 1本/h	足尾方面 1本/h未満
赤城駅【上毛電鉄】	西桐生方面 2本/h(日中)	前橋方面 2本/h(日中)
赤城駅【東武鉄道】	太田方面	1本/h(日中)
阿左美駅	赤城方面 1本/h(日中)	太田方面 1本/h(日中)
岩宿駅	桐生方面 1本/h(日中)	高崎方面 1本/h(日中)

②利用実態

- 自転車で駅を利用する高校生が多い



- 北側の利用者が多く、朝夕は送迎車で混雑する



3. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

(1) アンケート調査結果から見た市民ニーズ

① アンケート調査の概要

- まちづくりプランの検討に向けて下記に示す3種類のアンケート調査を実施しました。
- その結果を基に「岩宿駅」「駅前広場」「駅周辺（おおむね1km範囲内）」の課題などを整理しました。

■ アンケート概要

調査名	実施時期	調査のねらい	対象	調査方法	回答数
全市民アンケート	6月17日 ～ 7月8日	みどり市全体から見た岩宿駅及び周辺の利用実態や課題、市全体のまちづくりへのニーズの把握	市内在住者	WEB調査+備置き	793
地域住民アンケート	5月20日 ～ 6月6日	岩宿駅及び周辺の利用実態や課題、岩宿駅周辺まちづくりへのニーズの把握	18歳以上の笠懸町3～5区、7区住民	郵送+WEB調査	397
駅利用者アンケート	5月20日 5月21日	地域住民アンケートで把握困難な高校生等利用者の岩宿駅及び周辺の利用実態・課題の把握	岩宿駅利用者	インタビュー+WEB調査	268

■ 分析内容

「岩宿駅」「駅前広場」の課題を分析

⇒ 日常的な駅利用者
と非利用者の意識の
違いも把握

「駅周辺」の課題を
分析

⇒ 地域住民と全市民の意識の違いも
把握

2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

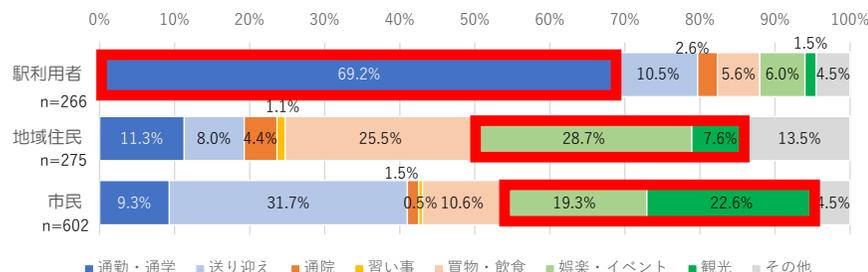
②アンケート回答者の属性

○岩宿駅の利用頻度



「地域住民」・「市民」アンケートでは、約2～3割が「利用したことがない」と回答。

○岩宿駅の利用目的

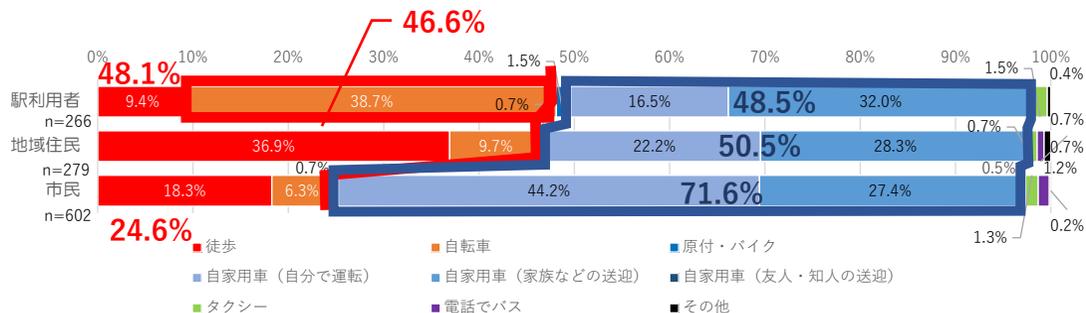


「駅利用者」は約7割が「通勤・通学」。(現地調査でも高校生の利用が約9割であることを確認)

「地域住民」・「市民」は、「娯楽・イベント」、「観光」利用が多い。

【考察】現在は高校生が通学の足として岩宿駅を利用しており、子育て世代にとっては、重要な交通手段。駅の利用者を増加させるためには、通学以外の市民や来街者の利用促進を図ることも必要と考えられる。

○岩宿駅への移動手段



いずれの調査でも、「自家用車」での移動が5～7割と、駅への主要な移動手段となっている。

「駅利用者」は高校生が多いため「自転車」が約4割、「地域住民」は「徒歩」での移動が約4割と多い。

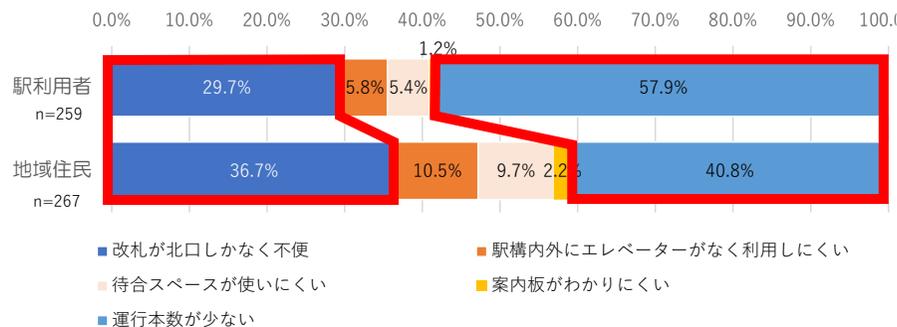
【考察】駅への主要な交通手段である自動車への対応と、自転車・徒歩による移動も考慮することが必要。

注)「駅利用者」の無回答者は除く。「地域住民」、「市民」は「利用したことがない」回答者は無回答とした。

2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

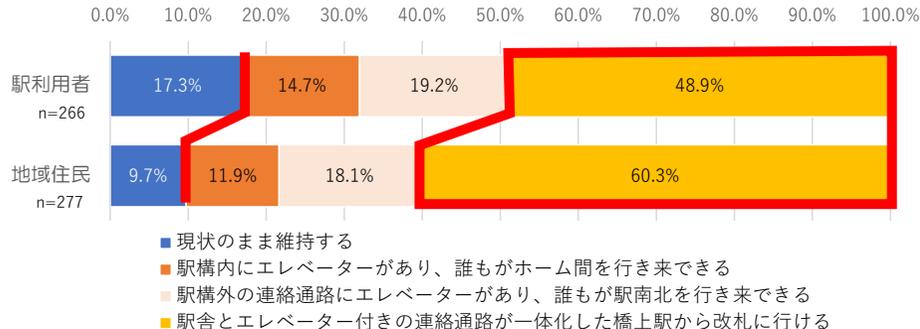
③ アンケート調査結果（岩宿駅編）

○岩宿駅の利用しにくい点



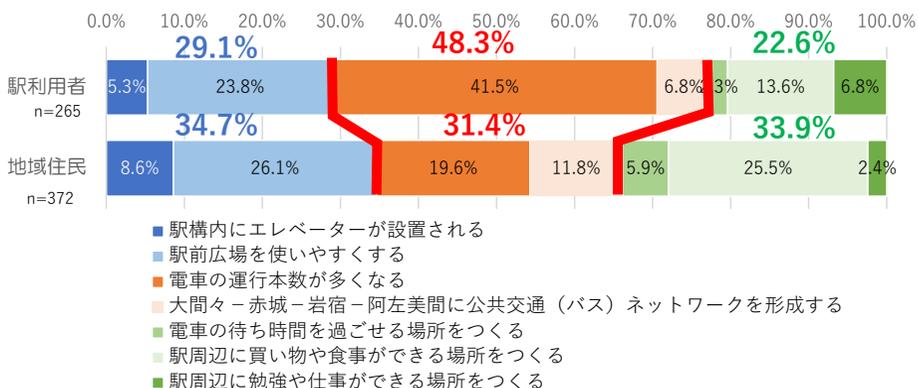
いずれの調査でも、「運行本数が少ない」が最も多く、次いで「改札が北口しかなく不便」が続く。

○岩宿駅の将来的に望ましい姿



いずれの調査でも、「駅舎とエレベーター付きの連絡通路が一体化した橋上駅から改札にいける」が最も回答割合が高い。「駅利用者」は、「地域住民」よりも「現状のまま維持する」の割合が高い。

○岩宿駅をより利用しようと思う改善点



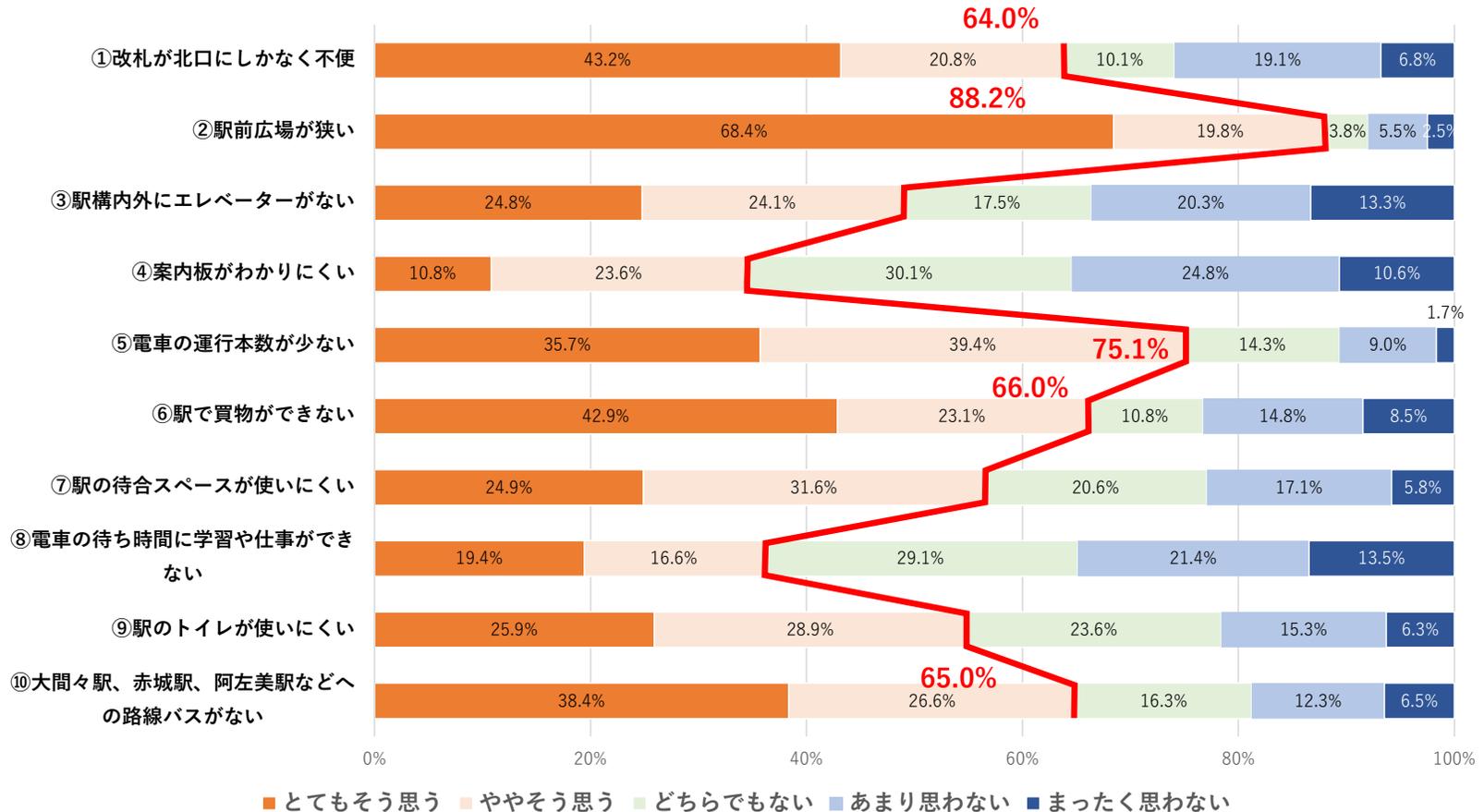
構内のエレベーター設置や駅前広場の改善といった「①ハード整備」、増便や公共交通ネットワークといった「②公共交通の見直し」、待合場所、買い物や食事、勉強や仕事といった「③空間利用」のいずれの割合も同程度である。

【考察】駅利用者は、地域住民（非利用者）と比べ、運行本数の改善を要望している傾向にある。また、駅利用に向けた改善点としては、ハード整備、運行等の見直し、空間利用の観点からの要望が同程度であり、複数の取組を組み合わせる必要があると考えられる。

注「駅利用者」の無回答者は除く。「地域住民」、「市民」は「利用したことがない」回答者は無回答とした。

2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

○市民アンケート(岩宿駅を利用するときの問題点)



「②駅前広場が狭い」が最も多く、次いで、「⑤電車の運行本数が少ない」、「⑥駅で買物ができない」、「⑩大間々駅、赤城駅、阿左美駅などへのバス路線」、「①改札が北口にしかなく不便」と続く。

注)回答③・④はn=601。その他はn=602。「利用したことがない」回答者は無回答とした。

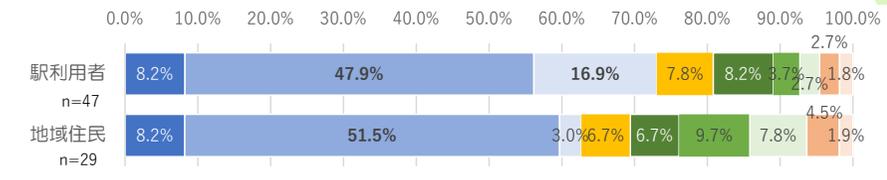
2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

④ アンケート調査結果（駅前広場編）

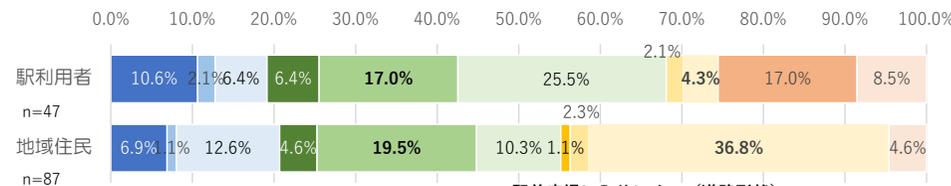
○駅前広場の改善点(北口)



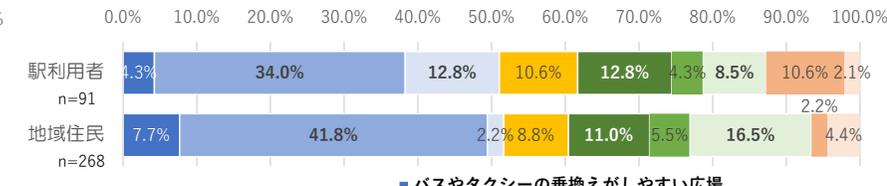
○駅前広場の将来像で重要だと思うこと(北口)



○駅前広場の改善点(南口)



○駅前広場の将来像で重要だと思うこと(南口)



【北口】

「駅利用者」・「地域住民」とも、「駅前広場に入りにくい(道路形状)」、「自動車と歩行者が交錯して危険」、「自家用車の乗降場が朝夕等に混み合う」といった**自動車利用に関する課題が多い**傾向にある。

【南口】

北口と比較し、「**駅南北を横断する自由通路が使いにくい**」が高い傾向にある。また、「**市営駐輪場が使いにくい・少ない**」といった割合も高い。

- 駅前広場に入りにくい(道路形状)
- 自動車と歩行者が交錯して危険
- 歩行空間や滞留できる広場が少ない
- 緑が少なく潤いがない
- 駅南北を横断する自由通路が使いにくい
- 自家用車の乗降場が朝夕等に混み合う
- 電話でバスやタクシーの乗降場がわかりにくい・不足
- 情報案内がわかりにくい
- 市営駐輪場が使いにくい・少ない
- 駐車が使いにくい・少ない
- その他

南口、北口とも「**自家用車が利用しやすい広場**」が最も割合が高く、「**駅利用者**」は、「**自転車・バイクが利用しやすい広場**」の割合が高い傾向にある。

なお、南口の方が、「**岩宿駅の玄関口としての景観を有する広場**」、「**落ち着きがあり居心地の良い広場**」といった広場としての機能を求める意見に対する割合が高い傾向にある。

- バスやタクシーの乗換えがしやすい広場
- 自家用車が利用しやすい広場
- 自転車やバイクが利用しやすい広場
- 多くの人が集まりにぎわう広場
- 落ち着きがあり居心地の良い広場
- 観光地へのアクセスや情報発信の拠点となる広場
- 岩宿遺跡の玄関口としての景観を有する広場
- 緑豊かで自然を感じる広場
- その他

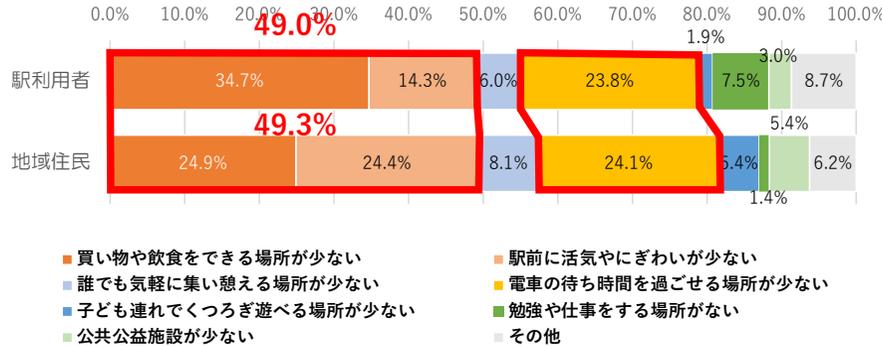
【考察】交通結節点として、自動車・自転車・徒歩での利便性向上に資する駅前広場が望まれていると考えられる。

注1)「駅利用者」の無回答者は除く。「地域住民」、「市民」は「利用したことがない」回答者は無回答とした。
注2)「北口」、「南口」の区分は、利用することが多い駅前広場の回答内容によって分類した。

3. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

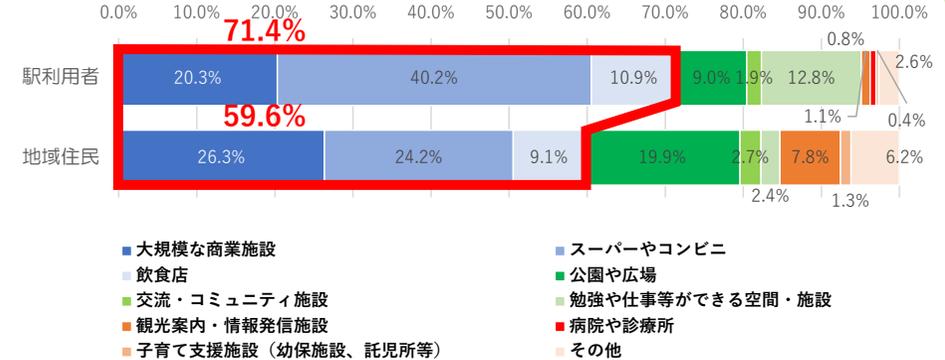
⑤ アンケート調査結果（岩宿周辺地区編）

○岩宿駅前周辺の問題点



「買い物や飲食をできる場所が少ない」、「駅前に活気やにぎわいが少ない」がいずれも5割弱を占めた。また、「電車の待ち時間を過ごせる場所が少ない」も約2.5割と、いずれの調査もおおむね同様の傾向であった。

○岩宿駅周辺にあつたらよいと思う機能や施設



いずれの調査でも、「大規模な商業施設」、「スーパーやコンビニ」、「飲食店」といったにぎわい(活気)を創出する施設に対する要望が6~7割を占めた。

【考察】駅周辺ではにぎわい創出が求められる傾向にあると考えられる。

○市民アンケート(岩宿駅周辺が将来どんなまちになったらよいか)

「公共交通や徒歩で歩いて暮らせるまち」、「自動車で安全・便利に行き来しやすいまち」、「商業施設が充実した活気のあるまち」の順に指摘率が高い。



【考察】移動が便利で、活気のあるまちが望まれる傾向にあると考えられる。

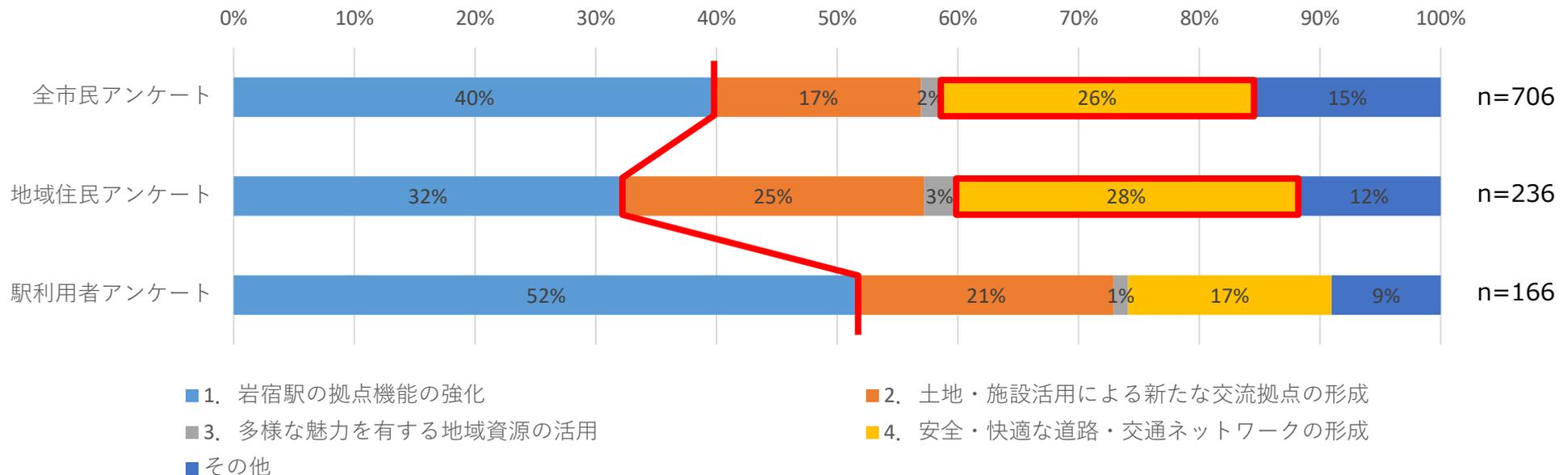
2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

⑥ アンケート調査で頂いた自由意見（大分類）

- 自由意見の合計回答人数は**841人**(3種類のアンケートの合計)
- 合計意見数は**1,108意見**(1人の回答者が複数の意見を記載していた場合は、複数カウントを行った)
- 3種類のアンケートの自由意見の記述割合は下記のようになり、**市民の関心の高さが伺える結果**となった。
全市民アンケート:66%、地域住民アンケート46%、駅利用者アンケート:49%

- 3種類のアンケートで頂いた自由意見を4項目※に大分類しその傾向を整理した

※「1. 岩宿駅の拠点機能の強化」「2. 土地・施設活用による新たな交流拠点の形成」
「3. 多様な魅力を有する地域資源の活用」「4. 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成」



全てのアンケートで、「1. 岩宿駅の拠点機能の強化に関するご意見」が最も多く、
全市民、地域住民は「4. 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成に関するご意見」も多くあった。

2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

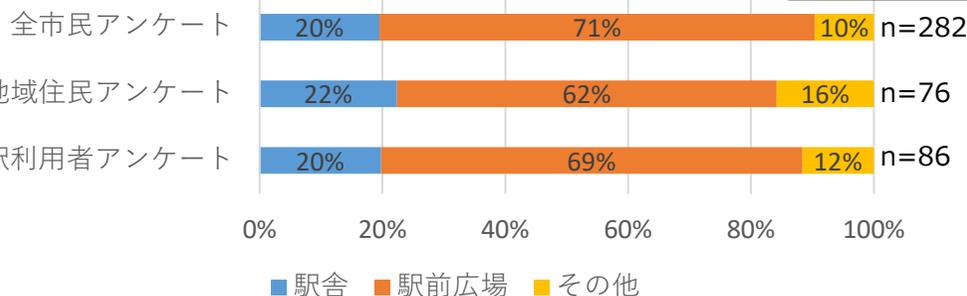
⑥ アンケート調査で頂いた自由意見（小分類）

- 大項目4分類ごとに意見を整理し、代表的な自由回答を抽出した

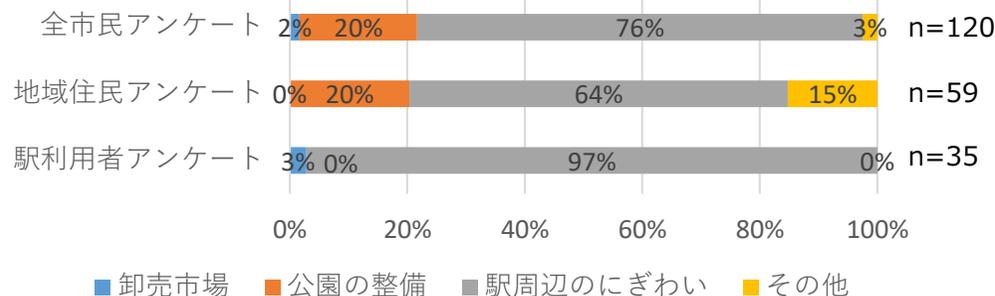
駅周辺のにぎわいに関する意見が多い

「1. 岩宿駅の拠点機能の強化」に関する意見

駅前広場に関する意見が多い



「2. 土地・施設活用による新たな交流拠点の形成」に関する意見

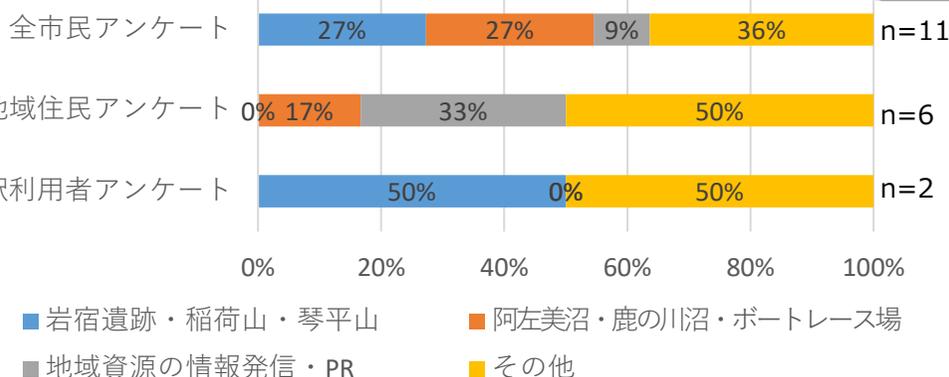


代表的な回答「北口周辺は渋滞が激しい時間があるので広くするなど整備して欲しい。」(地域住民より)

代表的な回答「駅周辺に飲食店やちょっとした人が集まれる(時間を潰せる)場所があればいいと思います。」(全市民より)

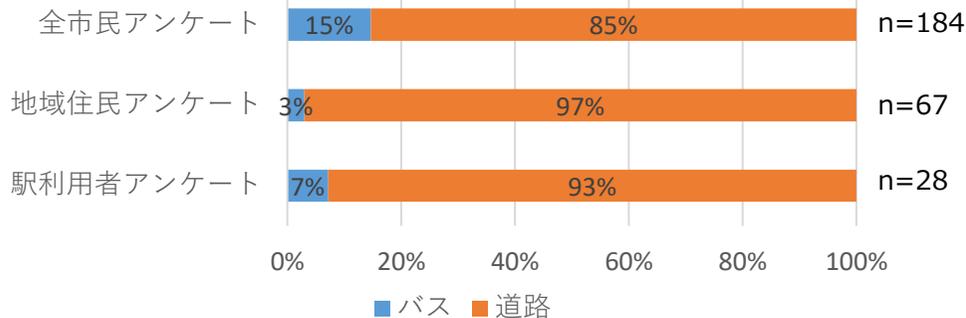
「3. 多様な魅力を有する地域資源の活用」に関する意見

岩宿遺跡や阿左美沼に関する意見が多い



「4. 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成」に関する意見

道路に関する意見が多い



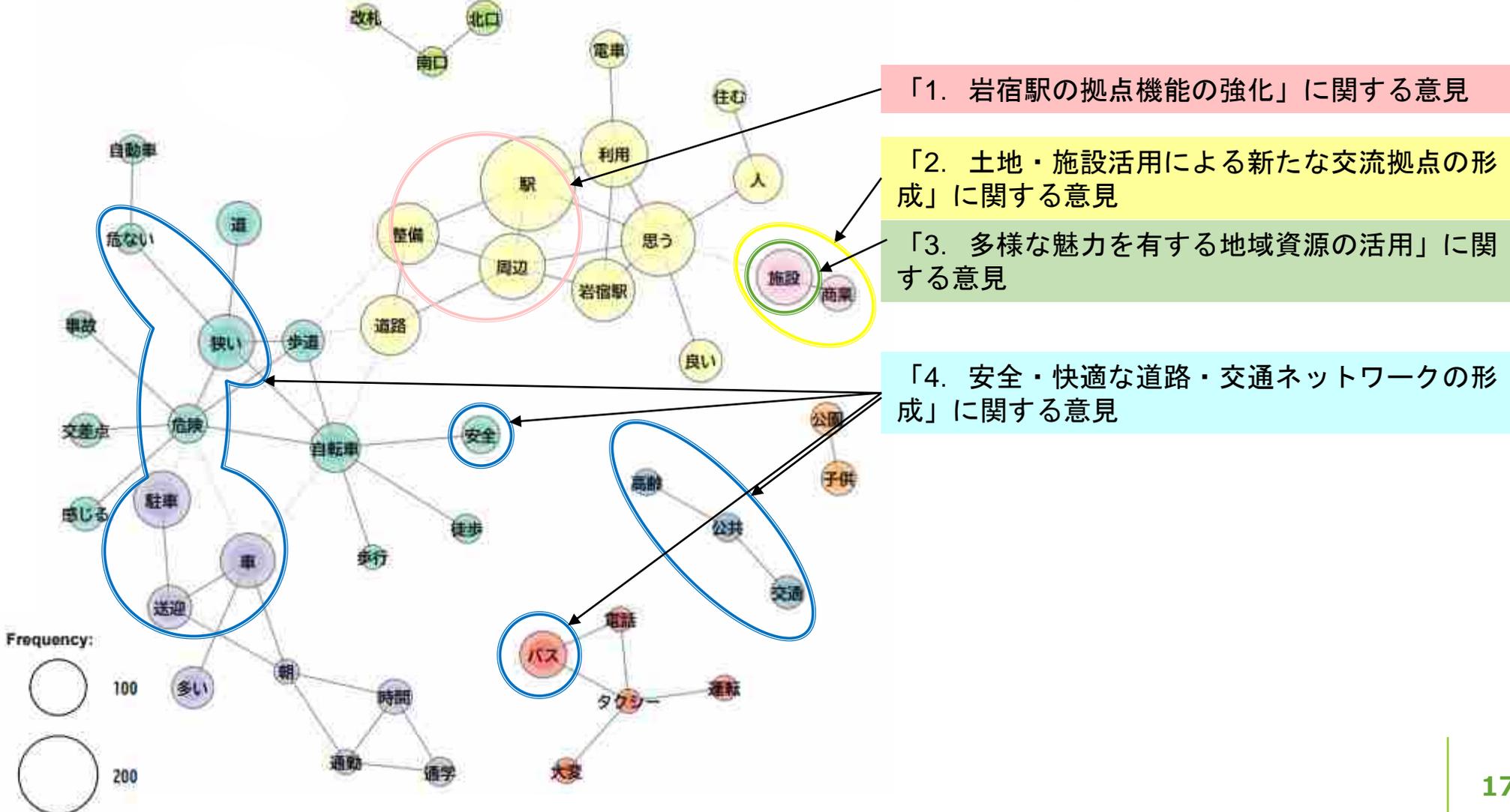
代表的な回答「阿左美沼周辺を活かして、緑や花々が、アチラコチラに点在するような遊歩道。癒し空間も。」(全市民アンケートより)

代表的な回答「自転車と車の通り道も別にしてもらいたい。ぶつかりそうになって危険です。」(駅利用者アンケートより)
「赤城駅、大間々駅、岩宿駅間のシャトルバスがあると良い。電話でバスは非常に不便」(全市民アンケートより)

2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ（参考）

⑥ アンケート調査で頂いた自由意見（グルーピング結果）

- 自由意見をデータ解析し、単語の出現数とその関係を図示した
※テキストマイニングソフト「KH Coder3」を使用。出現数15以上の用語を抽出。
出現数の多い単語は大きな円で表示。一緒に用いられることが多い単語をグルーピング



2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

(2) ワークショップ結果から見た市民ニーズ

- ワークショップで得られたご意見を4項目に分類して整理しました。

○駅・駅前広場・駅舎に関するご意見

(記号凡例) 😊・・・良いところ、😞・・・悪いところ、💡・・・改善・アイデア

駅舎

【改札】

- 💡 橋上駅舎にし、南口をメインに開発する
- 💡 国道50号側にも改札を作る(南口)
- 💡 駅の改札を南側にも作ってほしい(北口・南口の2か所希望)
- 💡 駅の南口にも改札を設置し駅内に直通できるようにしてほしい

【待合スペース】

- 😞 待合室にエアコンがない
- 💡 駅の屋根のエリアを広げてほしい(雨の日の迎え待ちの子どもたちが多くて密集しています)
- 💡 駅舎の中に机かテーブル
→待ち時間に勉強、軽食 ※電車の時間ぴつたりに迎えに来なくても大丈夫なように
- 😊 駅舎のレトロ感を残してほしい
- 😊 駅舎がきれい
- 😞 駅が古い

跨線橋

- 😞 南口への橋が危険
- 😞 跨線橋やホームの歩道橋がバリアフリーじゃない
- 😞 岩宿駅北口⇄南口渡り道 落書きがありイメージダウンにつながる
- 💡 落書きをアートのなおす
- 😞 連絡通路が暗い

駅舎



北口駅前広場の様子



待合室の様子



薄暗い跨線橋の様子

混雑時の北口の様子



北口駅前にある空き家



バリアフリー化されていない跨線橋・ホーム

駅前広場

【北口】

- 😊 昔の駅前よりは良くなっている
- 😞 夜間駅前に人がいないので学校、塾、部活帰りの子どもが不安になる
- 💡 駐車場を一通にする(ロータリー?)
- 😞 駐車場と歩く場所の区別がない
- 😞 林屋(空家)があり景観に問題あり
- 😞 駅案内が分からない

【南口】

- 😞 人が南口にいない
- 😞 南口がある認知度が低い
- 💡 駅南側のバス停が見つかりにくい。立て看板が欲しい
- 😞 駅周辺が暗くさびしい

ホーム

- 😞 跨線橋やホームの歩道橋がバリアフリーじゃない
- 💡 階段にバリアフリーの機能を付ける。エスカレーターやエレベーター

その他

- 💡 駅舎、駅前整備については、南北跨線橋を中心に東西方面を広範囲に含めた検討を
- 😊 南側のガイドマップがきれい
- 😊 歩いた場合の目安時間の表示



北口にある名所案内

2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

○土地活用に関するご意見

(記号凡例) 😊 …良いところ、😞 …悪いところ、⚙️ …改善・アイデア

卸売市場

- ⚙️ 桐生市場の岩宿駅側のスペースが空いていて、将来有効活用できそう
- ⚙️ 卸売市場を再整理して国道50号に道の駅を併設したら？
- ⚙️ 市場の土地はどうなるの？

公園の整備

- ⚙️ 近くに公園がほしい(子どもと遊べる)未来の為に
- ⚙️ 駅まわりを改修するなら駐車場のどこかにスケートボード場を作って欲しい(子どもたちがする場所がなくてそこからやっているのをよく見るから)
- ⚙️ 競艇場の無料駐車場を緑化公園にする

その他

- 😊 岩宿駅と50号が近くて良い
- ⚙️ 体育館前に駅を移動する
- ⚙️ 桐生ボートの駐車場の中で岩宿駅寄りが空いているので今後有効活用できる
- ⚙️ カタクリの移転後の施設づくり

駅周辺のにぎわい・機能強化

【北口】

- ⚙️ 周辺にコンビニ、おみやげ屋等の建設
- ⚙️ 駅前の空き家を利用し、コンビニを建てる
- ⚙️ 岩宿駅に売店があるといいかも
- ⚙️ 飲み物以外の自販機(パン、うどん、おにぎり等軽食)設置をしてほしい
- 😞 駅北のセブンイレブンに大量の野菜が売られている(驚き)

【南口】

- 😊 岩宿駅の南口には大型店舗が多くにぎやか
- 😞 コンビニ、ケーズデンキが遠い



駅前のコンビニ跡地

2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

○観光・にぎわいに関するご意見

(記号凡例) 😊 …良いところ、😞 …悪いところ、⚙️ …改善・アイデア

岩宿遺跡・稲荷山・琴平山

【岩宿遺跡】

- ⚙️ 岩宿遺跡へバスを出す
- ⚙️ 岩宿遺跡等、名所へのアプローチを改善してほしい
- ⚙️ 岩宿遺跡の雑草が多い。観光してもらう為に雑草をとった方がよい
- 😞 岩宿遺跡の街灯少ない

【稲荷山・琴平山】

- ⚙️ 稲荷山の夏のひまわりが良いが単発なので、何か通年での見どころがほしい
- ⚙️ 稲荷山山頂への道路を整備してほしい
 - ①カタクリの花祭り時に付近の人から一部苦情あり
 - ②稲荷神社への階段が急な為、登る人が少ない
- 😞 琴平山への登り口の看板等が少ない(景色が良い所)

阿左美沼・鹿の川沼・ボートレース場

- 😊 阿左美沼の景観・風景が良い
- ⚙️ 阿左美沼、鹿の川沼などにボートを浮かべカフェを作る
- ⚙️ 阿左美沼を観光地化してイベント(屋形船)を行う
- ⚙️ 鹿の川沼、桜並木をもっと活かすべき
- 😊 土日のボートレース来場者が意外と多い
- 😊 競艇場での馬券場外化 競馬人気

その他全体的

- 😊 景色が良い
- 😊 山が近くに見える
- 😊 水が有る山が有る



岩宿遺跡



阿左美沼



鹿の川沼

2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

○交通・歩道・バスに関するご意見

駐車場

- ☹️ 駅の駐車場での混雑(自動車と自転車)
- ☹️ 岩宿駅にある送迎用の駐車場が狭い(少ない)
- ☹️ 駅前広場の整備用地が狭い
- 🔧 市営の駐車場(安価)が欲しい

駐輪場

- 😊 北口の自転車置場が良く整備されている
- ☹️ 自転車が乱雑に置かれている
- ☹️ 南口の1台の停車スペースが狭い、自転車置場の標記がない
- 🔧 南口駐輪場、屋根がなく、雨風にさらされるので、屋根が欲しい(雨や暑さしのぎになる)

バス

- 😊 無料バスが使える(電話でバス)
- ☹️ 岩宿⇨阿左美駅間のシャトルバスがない
- ☹️ 赤城⇨岩宿⇨阿左美、市役所⇨岩宿を行き来するバスが無く、アクセスが良くない
- 🔧 岩宿遺跡へ駅からバスを出す

駐輪場の様子
(上:北口、下:南口)



電話でバスの様子



(記号凡例) 😊・・・良いところ、☹️・・・悪いところ、🔧・・・改善・アイデア

歩道・道路

【歩道】

- 🔧 岩宿駅から体育館や公民館、PAL、競艇場につながる歩道を整備してほしい(線路沿い)
- 🔧 駅の西の方に道路に出られる階段があることを周知(時間に余裕のある人に使ってもらう)(送迎の車は商業施設の駐車場で待つ)
- ☹️ 照明が少ない
- ☹️ 歩道がない箇所や狭い箇所がある
- 🔧 世田谷代田駅のような道路作り、街作りを
- ☹️ 高校生の通学道に歩道がない
- ☹️ 公園の中を歩くような歩道
- ☹️ 線路の柵がなく、子どもが危ない(グラウンド付近)
- ☹️ 渡れる道路がない(小さな踏切しかない)

【道路】

- ☹️ 道路が狭い
- 🔧 自転車専用の通路を作る
- ☹️ グラウンドへのアクセスが悪い(50号からのアクセス等)
- ☹️ 駅入り口の信号のY字路の対向車が分かりづらい(郵便局→信号)
- ☹️ 道の高低差がある
- ☹️ 駅利用者から店みたいな場所が少ないとあるが、作ったら道路の混雑が悪化するのは

駅周辺の歩道と車道の様子



駅から西側へ行く通路



駅東側にある踏切



線路沿いの歩道の様子
(アクセスが悪い)



2. 岩宿駅周辺地区に関する市民ニーズ

(3) パネル展示・パブリックコメントの実施状況

市民ニーズの把握として、ワークショップ以外に、パネル展示・パブリックコメントを実施しました。

■ パネル展示の実施

岩宿駅周辺まちづくりの整備方針案の紹介や、ワークショップの開催状況について、市内の4か所でパネル展示を行い、整備方針案及びまちづくりへの市民のみなさまの参加意向についてアンケート調査を行いました。



さくらもーる



ツルヤみどり店



岩宿駅



東公民館

■ パブリックコメントの実施 整備方針案について、パブリックコメントを実施し、広く意見を募集しました。

実施期間	2022年10月18日(火)～10月31日(月)
実施地点	【資料閲覧】 市のホームページ・市役所窓口(大間々庁舎・笠懸庁舎・東支所) 【提出方法】 郵送・FAX・電子メール・持参のいずれか
意見数	1件



3. 岩宿駅周辺まちづくりの方向性

(1) 岩宿駅周辺で目指すまちづくり像

ポテンシャル

- 岩宿駅周辺には、スポーツ施設、公共施設、歴史・文化施設、自然等の機能を保有する市内屈指の多様な施設が集積
- みどりの景観が美しいこと、便利であることが評価されている

課題

- 自動車利用時の利便性が評価される一方、歩行者の移動環境や、公共交通には多くの課題が指摘されている
- 周辺施設のポテンシャルや魅力が十分に生かされていない
- 岩宿駅の利用について、バリアフリー化や朝夕の混雑緩和等の多数の課題が指摘されている
- にぎわいの創出が求められている

市のまちづくりの方向性

- 市の資源を活用しながら、都市機能の集約による持続可能なまちづくり(集約型都市構造への転換)を進める

まちづくり像

なっから輝く

ほっと × ^{ぬま} 沼る × 岩宿



(想い)

- みどり市を特徴づける「自然＝緑・沼」を活用し、にぎわいと安らぎ(hotとホッと)があるまちを目指す。
- このような取組を光の3原色としてとらえ、重ね合わせることで、とても(なっから)輝く未来(白)をつくっていくことを表しています。

「ほっと」：にぎわいと安らぎ「hotとホッと」を表しており、駅周辺への新たなにぎわい機能の導入や人中心の道路空間の再編・整備などを実施していくことを想定しています。(整備方針2,4に対応)

「沼る」：岩宿駅周辺に夢中になり、住み続けたい、行ってみたいと思えるように岩宿遺跡の環境整備や阿左美沼公園の魅力向上などを実施していくことを想定しています。(整備方針3に対応)

「岩宿」：緑豊かな岩宿の特性を活かし、その玄関口となる岩宿駅舎のリニューアルや地域資源の活用と、地域資源のネットワーク化により、岩宿らしさをつくっていくことを想定しています。(整備方針1,3,4に対応)

3. 岩宿駅周辺まちづくりの方向性

(2) まちづくりの方向性

【市民ニーズの結果】

岩宿駅や南北の駅前広場について、多くの課題が指摘されました

【キーワード】橋上駅舎、南北からの駅利用の利便性(南北に改札・跨線橋の改善)、待合スペースの改善、北口広場の自動車・自転車・歩行者の適正利用、南口のにぎわい、多目的機能(飲食・公園等)等

既存ストック(施設・土地)の見直しについて、提案をいただきました

【キーワード】駅周辺のにぎわい(飲食・公園・スケートボード場等)、BOATRACE桐生の駐車場、桐生地方卸売市場の活用 等

駅周辺の多様な資源の課題や魅力化に向けた提案をいただきました

【キーワード】岩宿遺跡、鹿の川沼公園、琴平山周辺、阿左美沼公園 等

歩行環境の改善、施設間移動の利便性向上に関する課題をいただきました

【キーワード】歩行・自転車環境の改善、公共交通のネットワーク強化、スポーツ・健康交流ゾーンとの回遊性向上、駅舎南北の移動の円滑化、危険箇所(踏切)の解消 等

拠点機能の強化

「岩宿駅周辺交差点改良事業」が進む中、当該事業に合わせた駅舎や駅前広場の見直し、地域の拠点として駅・駅周辺の機能強化を図ることが考えられます。

施設・資源の活用によるにぎわい創出

駅だけでなく、周辺の施設や、土地利用の見直しを含めて、地域のにぎわい創出や、暮らしの利便性向上を図りながら、多世代が住み続けられるまちを実現します。

人と環境に優しい移動ネットワークの形成

広域拠点の核となる岩宿駅を中心に、公共交通の維持・拡充や歩行環境の改善を通じて、いつまでも健やかに・安全に暮らし続けることができる持続可能なまちを構築します。

整備方針1

：岩宿駅の拠点機能の強化

整備方針2

：土地・施設活用による新たな交流拠点の形成

整備方針3

：多様な魅力を有する地域資源の活用

整備方針4

：安全・快適な道路・交通ネットワークの形成

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

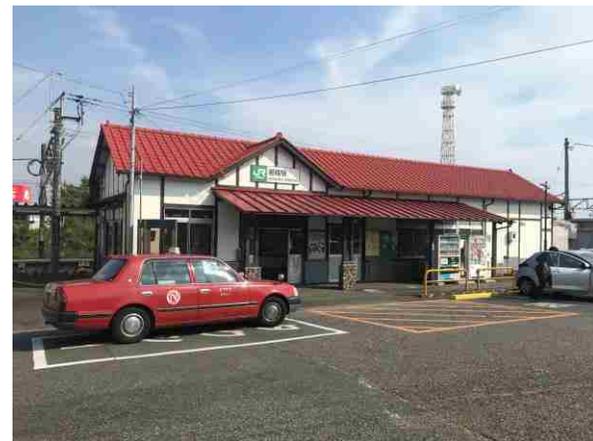
整備方針1 岩宿駅の拠点機能の強化

■現状と課題

- 現状の岩宿駅は、北口にしか改札口がないこと、南口に行くためには、跨線橋しかないため、多くの市民が不便を感じています。
- 駅舎には待合室はありますが、電車の待ち時間を有効に活用できるようなスペースや空調等の環境整備の整備が必要となります。
- 駅前広場については、改札が北口にしかないことから、朝と夕方には、送迎車で駅前広場が混雑します。

■考え方

- 岩宿駅は、みどり市の地域拠点の1つであることから、交通結節点としての役割に加え、にぎわいや交流、憩いなど多様な機能を発揮するような拠点として整備していくものとして、駅舎や駅前広場の再整備を行います。



■ 駅舎



■ 北口駅前広場の様子

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

整備方針1 岩宿駅の拠点機能の強化

■ 取組メニュー

1-①: 岩宿駅駅舎のリニューアル

- 駅舎の橋上化検討
- 勉強や飲食ができる多目的スペースの検討
- 駅舎のバリアフリー、空調、宅配ロッカー等の環境整備
- 駅に併設したコンビニや自販機等の導入検討

1-②: 北口駅前広場の再整備

- ロータリー方式による駅前広場の再整備検討
- 駐車場・駐輪場スペースの拡大検討
- 分かりやすいサインの導入検討
- 新たなモビリティやレンタサイクルの導入検討

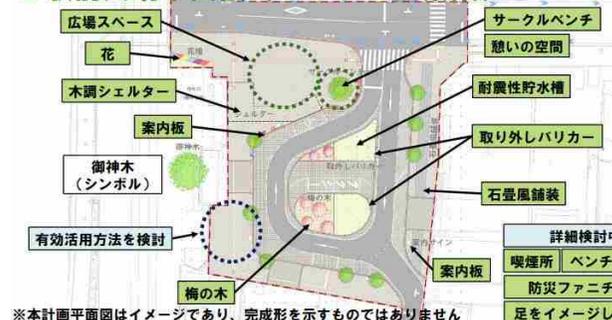
1-③: 南口駅前広場の再整備

- 駐車場スペースの拡大検討
- 駐輪場への屋根設置検討
- 分かりやすいサインの導入検討

事例①: 服部天神への玄関口としての駅前広場の検討 (大阪府豊中市)

地域の歴史資源である服部天神への玄関口としての駅前広場の機能やデザインを、地域住民等の参加で検討中。

○ 駅前広場平面図 (とりまとめ素案)



※本計画平面図はイメージであり、完成形を示すものではありません

出典) https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/shigaichiseibi/shigaichiseibi_topi/hattoritennjinn.files/daisannkaisetsumei.pdf

事例②: 生活拠点として駅前広場を新設 (大阪府和泉市)

市の拠点機能強化として、駅南北に駅前広場の整備と自由通路のバリアフリー化を検討中。



出典) <https://www.city.osakaizumi.lg.jp/kakukano/dezainbu/tosiseisaku/gyoumu/kitasinodaekimaeseibinituite/1507688731856.html>

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

整備方針2 土地・施設活用による新たな交流拠点の形成

■現状と課題

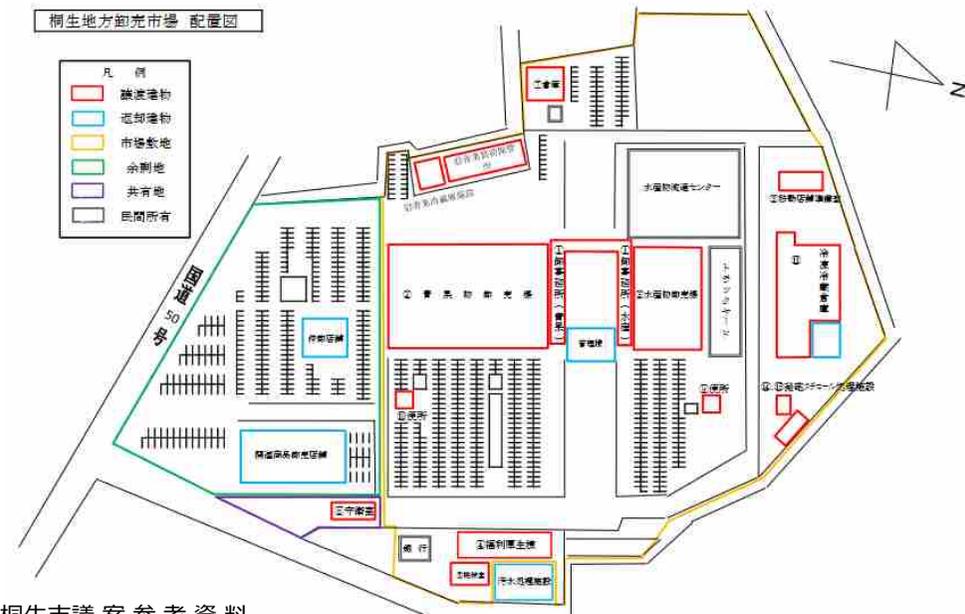
- 現状の岩宿駅周辺には、買い物や飲食ができる場所が少なく、駅前の活気やにぎわいが少ないことが課題です。
- 一方で、にぎわい創出に向けた低未利用地や跡地活用が必要な施設が岩宿駅周辺地区に点在しています。
- このような、低未利用地等を活用して、にぎわい創出につながる取組を行っていくことが必要です。



■ BOATRACE桐生

■考え方

- 岩宿駅の拠点機能の強化と合わせて、駅周辺地区で見込まれる低未利用地等を活用したにぎわい機能を誘導することにより、新たな交流拠点の形成を行います。



出典) 桐生市議案参考資料
[令和2年第4回定例会(12月)]

■ 桐生地方卸売市場配置図

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

整備方針2 ▶ 土地・施設活用による新たな交流拠点の形成

■ 取組メニュー

- 2-①: 温泉施設整備事業
- 2-②: かたくりの湯跡地活用検討
(スポーツ施設の併設検討)
- 2-③: 駅周辺への新たなにぎわい機能導入検討
 - 空き家を活用したにぎわい・交流施設の検討
 - 低未利用地を活用したスケートボード場等の検討
 - 駅周辺への行政サービス機能の検討
- 2-④: BOATRACE桐生の駐車場の有効活用
 - 駐車場を活用したにぎわい創出検討
 - 駐車場の公園化
- 2-⑤: 桐生地方卸売市場の活性化
 - 地域に開かれた卸売場への転換(食の提供・販売機能の強化、各種イベント展開)
- 2-⑥: 宿泊施設の駅周辺への誘致

事例①: 無人化された大聖寺駅が新たなにぎわいの場「大聖寺ゲートウェイ」に (石川県加賀市)

高校生や地域の人、テレワーカーが気軽に集える場をコンセプトに、自習やテレワークができるコワーキングスペースや大阪で有名なパン店「パンデュース」も出店するほか、多目的トイレも新設した「大聖寺ゲートウェイ」として令和4年6月にオープン。



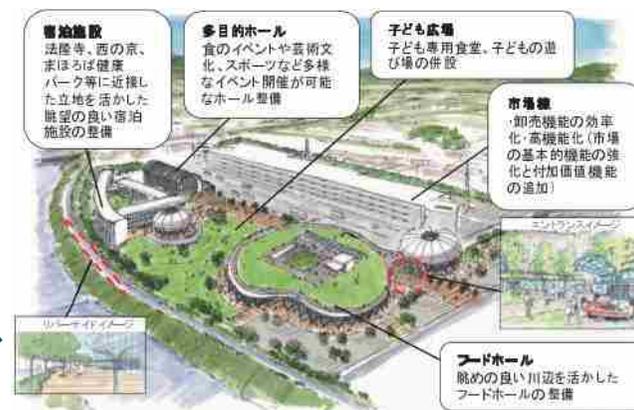
出典)北國新聞

出典)

<https://www.city.kaga.ishikawa.jp/material/files/group/14/r40607press.pdf>

事例②: 中央卸売市場の再生整備

奈良県中央卸売市場は老朽化が激しく再整備が必要となっている。BtoB向けの卸売機能の強化はもちろん、新たにBtoC向けの機能も検討されている。BtoC機能は例えば、食材の販売や食の拠点づくり、子ども専用食堂・遊び場、食とともに文化やスポーツが楽しめる多目的ホールやホテルの誘致が位置付けられている。



出典) : 奈良新『都』づくり戦略2021(7.豊かな「都」をつくる)

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

整備方針3 多様な魅力を有する地域資源の活用

■現状と課題

- 岩宿駅周辺には、岩宿遺跡、阿左美沼、鹿の川沼、博物館等、市内を代表する施設が集積しています。
- 現状では、これらの資源について、さらなる魅力の向上やアプローチの改善などの磨き上げが必要です。
- また、これら地域資源の魅力についての情報発信をもっと積極的に行っていくことも必要です。

■考え方

- 岩宿駅周辺地区に点在する多様な地域資源について、より多くの人に知ってもらい、活用してもらうための環境整備を行うとともに、官民で連携した施設活用や情報発信を行います。



■ 岩宿遺跡



■ 阿左美沼

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

整備方針3 多様な魅力を有する地域資源の活用

■ 取組メニュー

- 3-①: 岩宿遺跡周辺の環境整備
 - 稲荷山への散策路整備
 - 歴史めぐりコースの高質化・PR
- 3-②: 鹿の川沼公園の魅力向上
 - 水辺のカフェ設置検討
 - 水上アクティビティの検討(ボート、SUP等)
 - 桜並木の活用(景観スポットの形成)
- 3-③: 琴平山周辺の環境整備
 - 展望台への快適な散策路整備(散策・トレイルランニングへの活用)
 - 観光案内サインの導入検討
- 3-④: 阿左美沼公園の魅力向上
 - 水辺のカフェ設置検討
 - 水上アクティビティの検討(屋形船、ボート、SUP等)
 - 周遊散策路の魅力向上
 - 阿左美沼の水質改善
- 3-⑤: 地域資源の情報発信・PR(エリア全体)

事例①: ため池を活用した町の魅力づくり(兵庫県稲美町)

町内に大小88カ所のため池が存在するため池の町であり、ため池周辺の遊歩道の整備やウォーキングイベント、サップやウィンドサーフィン等のスポーツや釣りといった整備や取組を実施しながら、ため池を活用したまちづくりを行っている。



■ 加古大池

出典) <https://web.pref.hyogo.lg.jp/recommend/learn/learn01.html>

事例②: 地域を元気にするフットパス(熊本県美里町)

商工会や地域住民が町の魅力を探し、それらをつなぐフットパスとして位置付け、「歩き」での滞在を地域経済の活性化につないでいる。



出典) https://www.soumu.go.jp/main_content/000721250.pdf

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

整備方針4 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成

■現状と課題

- 岩宿駅周辺地区全体として、歩道が整備されていない道路や道路が狭い区間があること、街灯が少ないことから、通学の際の安全性が懸念されています。
- 岩宿駅周辺には、多くの地域資源が点在していますが、駅からのアクセスが悪く、公共交通ネットワークの強化やアクセス改善が求められています。
- このような整備に当たっては、今後の高齢化も見据えて、バリアフリー化も必要です。

■考え方

- これまでの車中心の道路空間から人中心の道路空間の再編・整備や公共交通ネットワークの強化を図ることで、誰でも安全・快適に岩宿駅周辺地区内を回遊できるような取組を推進します。



■ 駅周辺の歩道と車道の様子



■ 駅東側にある踏切

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

整備方針4 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成

■ 取組メニュー

- 4-①: 人中心の道路空間の再編・整備
(エリア全体)
 - 歩道の整備促進(道路拡幅等)
 - 自転車走行空間の整備・検討
 - 街灯や防犯カメラの設置
- 4-②: 拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化
- 4-③: スポーツ・健康交流ゾーンとの回遊性の向上(連続した歩道の設置検討)
- 4-④: 南北通路のバリアフリー化
- 4-⑤: 安全な利用に向けた踏切改善

事例①：生活道路の安全対策

生活道路での交通事故の発生を抑制するため、様々な安全対策がとられている。自動車の速度が30km/h以下の場合、死亡事故確率は大幅に減少することから、エリアの速度規制を30km/h以下とする取組もある。



■ 外側線にラバーポール等を設置し、歩行者と車両を分離
出典) <https://www.mlit.go.jp/road/road/traffic/sesaku/pdf/radm-jirei/3-1j.pdf>

事例②：駅周辺の移動の利便性向上のため交通事業者と連携して新たな通路を新設（大阪府豊中市）

服部天神駅前広場の改修をふまえ、駅周辺の安全性・利便性向上のため、新たな移動通路を駅舎直近に新設。

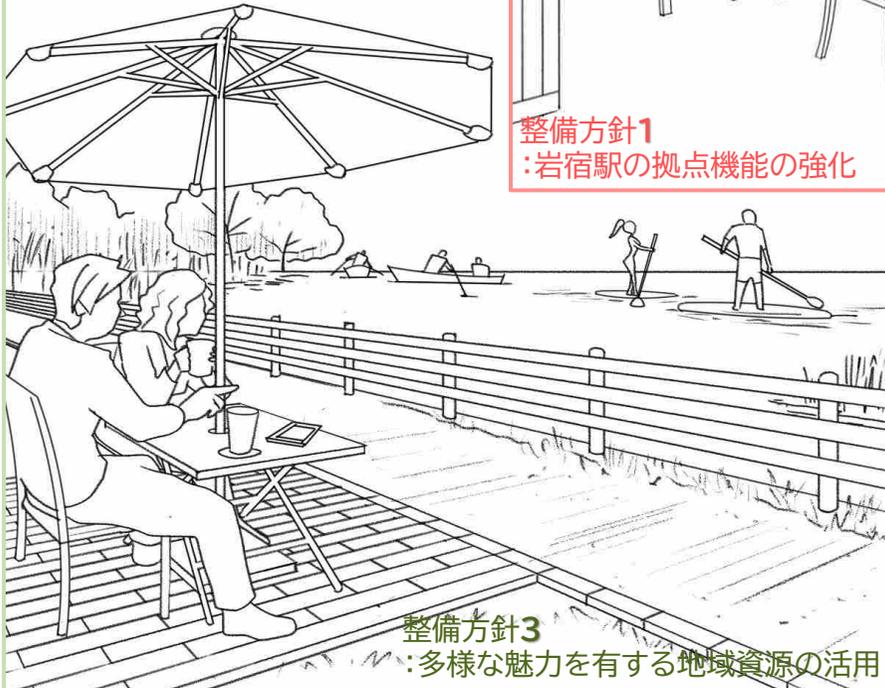


出典)
https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/shigaichiseibi/shigaichiseibi_topi/shinkeiro.html

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

■ 岩宿駅周辺まちづくり 展開イメージ

水辺のカフェ設置検討
水上アクティビティの検討
(ボート、SUP等)



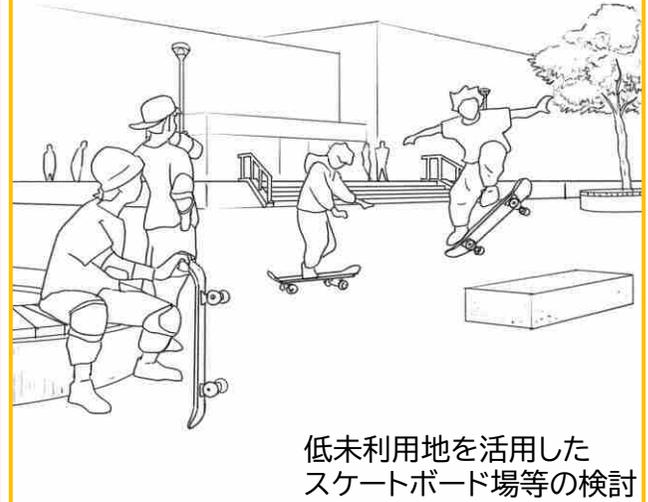
整備方針3
:多様な魅力を有する地域資源の活用

整備方針1
:岩宿駅の拠点機能の強化



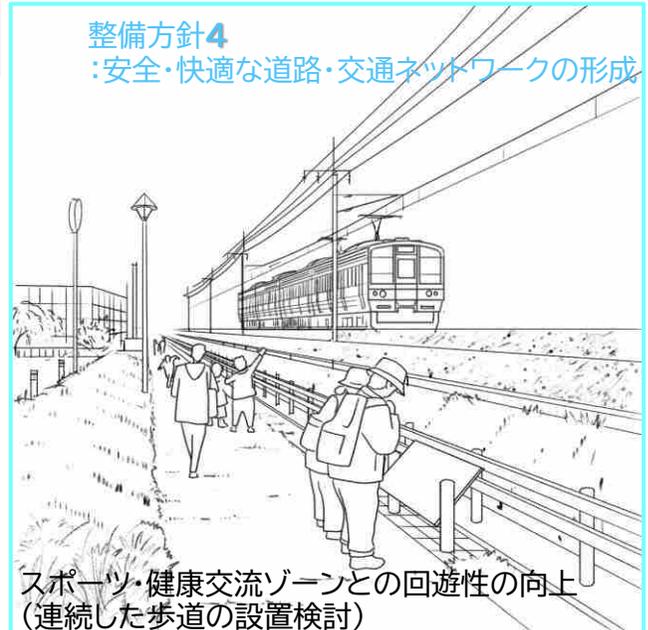
勉強や飲食ができる
多目的スペースの検討

整備方針2
:土地・施設活用による新たな交流拠点の形成



低未利用地を活用した
スケートボード場等の検討

整備方針4
:安全・快適な道路・交通ネットワークの形成



スポーツ・健康交流ゾーンとの回遊性の向上
(連続した歩道の設置検討)

4. 岩宿駅周辺まちづくりを進める4つの整備方針

◎ 短期: 5年以内に実施
○ 中期: 10年以内に実施
● 長期: 10年以上に実施

- 岩宿駅周辺まちづくりを進めるための4つの方針**
- 整備方針1** : 岩宿駅の拠点機能の強化
 - 整備方針2** : 土地・施設活用による新たな交流拠点の形成
 - 整備方針3** : 多様な魅力を有する地域資源の活用
 - 整備方針4** : 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成

○2-①温泉施設整備事業

3-①岩宿遺跡周辺の環境整備

- 稲荷山への散策路整備
- 歴史めぐりコースの高質化・PR

● 2-②かたくりの湯跡地活用検討 (スポーツ施設の併設検討)

3-②鹿の川沼公園の魅力向上

- 水辺のカフェ設置検討
- 水上アクティビティの検討 (ボート、SUP等)
- 桜並木の活用 (景観スポットの形成)

3-③琴平山周辺の環境整備

- 展望台への快適な散策路整備 (散策・トレイルランニングへの活用)
- 観光案内サインの導入検討

1-①岩宿駅駅舎のリニューアル

- 駅舎の橋上化検討
- 勉強や飲食ができる多目的スペースの検討
- 駅舎のバリアフリー、空調、宅配ロッカー等の環境整備
- 駅に併設したコンビニや自販機等の導入検討

1-③南口駅前広場の再整備

- 駐車場スペースの拡大検討
- 駐輪場への屋根設置検討
- 分かりやすいサインの導入検討

岩宿駅周辺地区内で実施

● 2-⑥宿泊施設の駅周辺への誘致

○3-⑤地域資源の情報発信・PR (エリア全体)

4-①人中心の道路空間の再編・整備 (エリア全体)

- ◎ 歩道の整備促進 (阿左美桐生線道路拡幅等)
- ◎ 自転車走行空間の整備・検討
- ◎ 街灯や防犯カメラの設置 (◎北口 ○南口)



岩宿駅周辺まちづくり整備方針図

1-②北口駅前広場の再整備

- ◎ ロータリー方式による駅前広場の再整備検討
- ◎ 駐車場・駐輪場スペースの拡大検討
- ◎ 分かりやすいサインの導入検討
- 新たなモビリティやレンタサイクルの導入検討

◎4-②拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化

○4-④南北通路のバリアフリー化

◎4-⑤安全な利用に向けた踏切改善

2-⑤桐生地方卸売市場の活性化

- 地域に開かれた卸売場への転換 (食の提供・販売機能の強化、各種イベント展開)

2-④BOATRACE 桐生の駐車場の有効活用

- 駐車場を活用したにぎわい創出検討
- 駐車場の公園化

○4-③スポーツ・健康交流ゾーンとの回遊性の向上 (連続した歩道の設置検討)

2-③駅周辺への新たなにぎわい機能導入検討

- 空き家を活用したにぎわい・交流施設の検討
- 低未利用地を活用したスケートボード場等の検討
- 駅周辺への行政サービス機能の検討

3-④阿左美沼公園の魅力向上

- 水辺のカフェ設置検討
- 水上アクティビティの検討 (屋形船、ボート、SUP等)
- 周遊散策路の魅力向上
- 阿左美沼の水質改善



■ 整備方針図

5. 整備方針の実践に向けて

(1) 優先度の考え方

条件① 『市民ニーズ』が高い取組から優先的に実施する

(安全性) 子どもたちの安全、周辺の道路整備・拡幅、踏切の拡幅
(駅前の利便性) 自動車の利便性向上(駐車場)、駅のバリアフリー、駅舎への学習スペース
(駅前のにぎわい) 南側の改札(と周辺の開発)



条件② 『実施主体のシーズ*』があり、できる取組から優先的に実施する

- 条件①②を両方満たす取組を「短期」に、どちらか片方を満たす取組を「中期」に、それ以外の取組を「長期」として推進していきます。

*実施主体のシーズ: 取組を責任を持って主体的に進める組織・技術・資金等



◎印
短期
~5年で実施

駅前広場整備や駅前広場につながる道路整備やアクセス改善などにより、安全で快適な利用ができる駅前の環境づくりを実施する。

○印
中期
~10年で実施

駅前の改善を踏まえ、駅舎のリニューアルや駅周辺におけるにぎわい機能の導入により駅前のにぎわいを創出する。

・印
長期
10年以降で実施

駅前のにぎわいを駅周辺地区全体へ波及し、地区内の回遊性を高めることで地域拠点としての魅力を向上する。

5. 整備方針の実践に向けて

(2) 想定される役割分担とスケジュール

- 今後、まちづくり像を実現するための整備方針を推進していくためには、県、市、民間（JRや民間事業者）、市民が連携して取り組んでいく必要があります。
- ここでは、官民連携による望ましい役割分担を例示するとともに、事業の優先度付けを行い、段階的に取組を推進していくものとします。
- また、短期に位置付けたメニューについては、「整備計画」の中で具体的な検討を行っていくものとします。

短期メニューとして今後整備計画で検討していく取組（案）

- ロータリー方式による駅前広場の再整備検討
- 駐車場・駐輪場スペースの拡大検討
- 分かりやすいサインの導入検討
- 歩道の整備促進（道路拡幅等）
- 街灯の設置
- 安全な利用に向けた踏切改善
- 拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化

北口駅前広場の再整備

※メニューの優先度や内容については、現時点で想定しているものであり、今後変更する可能性があります。

5. 整備方針の実践に向けて

◎ 短期：5年以内に実施
○ 中期：10年以内に実施
● 長期：10年以降に実施

※1優先度：短期は5年以内に実施、中期は10年以内に実施、長期はそれ以降に実施

※2条件：○優先的な取組 ※□：一体的に行うことで効率的な取組

(2) 想定される役割分担とスケジュール

整備方針	整備メニュー	役割分担				担当課	優先度※1			条件※2	
		県	市	民間	市民		短期	中期	長期	市民ニーズ	主体シース
1・岩宿駅の拠点機能の強化	1-①：岩宿駅駅舎のリニューアル										
	○駅舎の橋上化検討		●	●		企画課・都市計画課		●		●	
	○勉強や飲食ができる多目的スペースの検討		●	●		企画課・都市計画課		●		●	
	○駅舎のバリアフリー、空調、宅配ロッカー等の環境整備		●	●		企画課・都市計画課		●			
	○駅に併設したコンビニや自販機等の導入検討		●	●		企画課・都市計画課		●			
	1-②：北口駅前広場の再整備										
	◎ロータリー方式による駅前広場の再整備検討		●			建設課・都市計画課	●				●
	◎駐車場・駐輪場スペースの拡大検討		●			財政課・建設課・都市計画課	●			●	●
	◎分かりやすいサインの導入検討		●			建設課・都市計画課	●				●
	・新たなモビリティやレンタサイクルの導入検討		●	●		企画課・観光課			●		
	1-③：南口駅前広場の再整備										
	○駐車場スペースの拡大検討		●			建設課・都市計画課		●		●	
○駐輪場への屋根設置検討		●			財政課・建設課・都市計画課		●				
○分かりやすいサインの導入検討		●			建設課・都市計画課		●				
2・新たな土地・施設活用による交流拠点の形成	○2-①：温泉施設整備事業		●	●		社会福祉課		●			●
	・2-②：かたくりの湯跡地活用検討（スポーツ施設の併設検討）		●	●		社会福祉課・社会教育課				●	
	2-③：駅周辺への新たなにぎわい機能導入検討										
	・空き家を活用したにぎわい・交流施設の検討		●	●		観光課・建設課				●	
	・低未利用地を活用したスケートボード場等の検討		●	●		社会教育課				●	
	○駅周辺への行政サービス機能の検討		●			財政課		●			●
	2-④：BOATRACE桐生の駐車場の有効活用										
	・駐車場を活用したにぎわい創出検討		●	●		競艇事業局				●	
	・駐車場の公園化		●	●		競艇事業局				●	
	2-⑤：桐生地方卸売市場の活性化										
○地域に開かれた卸売場への転換（食の提供・販売機能の強化、各種イベント展開）		●	●		農林課		●		●		
・2-⑥：宿泊施設の駅周辺への誘致		●	●		商工課				●		

5. 整備方針の実践に向けて

◎ 短期：5年以内に実施
 ○ 中期：10年以内に実施
 ・ 長期：10年以降に実施

(2) 想定される役割分担とスケジュール

※1優先度：短期は5年以内に実施、中期は10年以内に実施、長期はそれ以降に実施

※2条件：○優先的な取組 ※□：一体的に行うことで効率的な取組

整備方針	整備メニュー	役割分担				担当課	優先度※1			条件※2		
		県	市	民間	市民		短期	中期	長期	市民 ニーズ	主体 シース	
3 ・ 多様な魅力を有する地域資源の活用	3-①：岩宿遺跡周辺の環境整備											
	○稲荷山への散策路整備		●		●	文化財課		●			●	
	○歴史めぐりコースの高質化・PR		●		●	文化財課		●			●	
	3-②：鹿の川沼公園の魅力向上											
	・水辺のカフェ設置検討		●	●		建設課			●			
	・水上アクティビティの検討（ボート、SUP等）		●	●		観光課			●			
	○桜並木の活用（景観スポットの形成）		●		●	観光課・建設課		●			●	
	3-③：琴平山周辺の環境整備											
	○展望台への快適な散策路整備（散策・トレイルランニングへの活用）		●		●	文化財課		●			●	
	○観光案内サインの導入検討		●			観光課・文化財課		●			●	
	3-④：阿左美沼公園の魅力向上											
	・水辺のカフェ設置検討		●	●		建設課			●			
	・水上アクティビティの検討（屋形船、ボート、SUP等）		●	●		観光課			●			
	・周遊散策路の魅力向上		●		●	建設課			●			
・阿左美沼の水質改善		●		●	農林課			●				
○3-⑤：地域資源の情報発信・PR（エリア全体）		●	●	●	観光課		●			●		
4 ・ 交通ネットワークの形成	4-①：人中心の道路空間の再編・整備（エリア全体）											
	◎歩道の整備促進（道路拡幅等）	●	●			建設課		●		●	●	
	・自転車走行空間の整備・検討	●	●			建設課			●			
	◎街灯や防犯カメラの設置	●	●			建設課・危機管理課		●			●	
	◎4-②：拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化		●	●		企画課	●			●	●	
	○4-③：スポーツ・健康交流ゾーンとの回遊性の向上（連続した歩道の設置検討）		●			建設課		●			●	
	○4-④：南北通路のバリアフリー化		●	●		競艇事業局		●		●		
◎4-⑤：安全な利用に向けた踏切改善		●	●		建設課	●			●	●		

参考：市民ニーズと整備方針の関係

1. 岩宿駅の拠点機能の強化

WSの主な意見	アンケート調査結果から得られた市民ニーズ	県・市の上位関連計画	整備方針（案）
<ul style="list-style-type: none"> ○ 雨の日など、迎え待ちの子供たちが多く、密集してしまうので、駅の屋根のあるエリアを広げてほしい ○ 駅舎の中に机かテーブルを設置して待ち時間に勉強、軽食ができるようにしてもらえれば、電車の時間ぴったりに迎えに来なくてすみ、混雑緩和にもなる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「買い物や飲食をできる場所が少ない」(地域住民:23%、駅利用者:35%) ○ 「駅前に活気やにぎわいが少ない」(地域住民:23%) 		1-①:岩宿駅駅舎のリニューアル
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩宿駅にある送迎用の駐車場が狭いうえに、少ない ○ 北口の駐車場を一方通行にして、ロータリ化してほしい ○ 自転車乱雑に置かれている ○ 南口駐輪場、屋根がなく、雨風にさらされるので、屋根が欲しい ○ 駅の改札を南側にも作ってほしい(北口・南口の2か所希望) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北側(駅舎側)駅前広場利用割合(平日・休日合計)82.3% ○ 「改札が北口しかなく不便」(地域住民:24%、駅利用者:30%) ○ 「駅前広場を使いやすくする」(地域住民:24%、駅利用者:24%) ○ 「駅前広場に入りにくい(道路形状)」(地域住民:19%、駅利用者:18%) ○ 「自家用車の乗降場が朝夕等に混み合う」(地域住民:17%、駅利用者:28%) ○ 「自家用車が利用しやすい広場」(駅利用者:46%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅前広場整備(東毛広域・都市計画圏都市計画区域の整備開発及び保全の方針) ○ 岩宿駅周辺整備事業(第2次みどり市総合計画) 	1-②:北口駅前広場の再整備 1-③:南口駅前広場の再整備

1. 岩宿駅の拠点機能の強化

参考：市民ニーズと整備方針の関係

2. 土地・施設活用による新たな交流拠点の形成

WSの主な意見	アンケート調査結果から得られた市民ニーズ	県・市の上位関連計画	整備方針（案）	
<ul style="list-style-type: none"> ○ かたくりの湯の移転後の施設づくりの検討をしてほしい ○ かたくりの湯をリニューアルしてスポーツ施設を併設したらどうか 		<ul style="list-style-type: none"> ○ かたくりの湯温泉施設整備事業(みどり市公共施設個別施設計画) 	2. 土地・施設活用による新たな交流拠点の形成	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 周辺にコンビニ、おみやげ屋等の建設をしてほしい ○ 夜間駅前に人がいないので学校、塾、部活帰りの子どもが不安になる ○ 行政サービス施設の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「駅周辺に買物や食事ができる場所をつくる」(地域住民:24%、駅利用者:13%) ○ 「駅前にスーパーやコンビニが欲しい」(地域住民:23%、駅利用者:41%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 商業・業務系施設の立地誘導(みどり市都市計画マスタープラン) ○ 笠懸庁舎は、新庁舎建設後に売却又は建物を解体した上での売却を検討(みどり市公共施設個別施設計画) 		<ul style="list-style-type: none"> 2-①:温泉施設整備事業 2-②:かたくりの湯跡地活用検討(スポーツ施設の併設検討) 2-③:駅周辺への新たなにぎわい機能導入検討
<ul style="list-style-type: none"> ○ BOATRACE桐生の駐車場で、岩宿駅寄り空いているので今後有効活用できるのではないかと 				<ul style="list-style-type: none"> 2-④:BOATRACE桐生の駐車場の有効活用
<ul style="list-style-type: none"> ○ 桐生市場の岩宿駅側のスペースが空いていて、将来有効活用できるのではないかと ○ 卸売市場を再整備して国道50号に道の駅を併設したらどうか 				<ul style="list-style-type: none"> 2-⑤:桐生地方卸売市場の活性化
<ul style="list-style-type: none"> ○ カプセルホテルなど、みどり市に宿泊できる所をつくってほしい 				<ul style="list-style-type: none"> 2-⑥:宿泊施設の駅周辺への誘致

参考：市民ニーズと整備方針の関係

3. 多様な魅力を有する地域資源の活用

WSの主な意見	アンケート調査結果から得られた市民ニーズ	県・市の上位関連計画	整備方針（案）	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩宿遺跡周辺に街灯が少ない ○ 岩宿遺跡の雑草が多いので、観光してもらう為に雑草をとった方が良い ○ 稻荷山山頂への道路を整備して欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「岩宿遺跡や岩宿博物館、かたくりの湯など歴史・観光資源に恵まれている」(地域住民12%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然資源と調和した環境を形成し、観光やレクリエーションの場としての活用(みどり市都市計画マスタープラン) 	3. 多様な魅力を有する地域資源の活用	3-①:岩宿遺跡周辺の環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ○ 鹿の川沼にボートを浮かべカフェを作る ○ 鹿の川沼、桜並木をもっと活かすべき 				3-②:鹿の川沼公園の魅力向上
<ul style="list-style-type: none"> ○ 景色が良い所なのに、琴平山への登り口の看板等が少ない ○ トレイルランニングできる環境にしてほしい 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然資源と調和した環境を形成し、観光やレクリエーションの場としての活用(みどり市都市計画マスタープラン) 		3-③:琴平山周辺の環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ○ 阿左美沼にボートを浮かべカフェを作る ○ 阿左美沼を観光地化してイベント(屋形船)を行う 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 阿左美沼と調和した市街地としての環境づくり(みどり市都市計画マスタープラン) 		3-④:阿左美沼公園の魅力向上
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩宿はPR不足だと思う 				3-⑤:地域資源の情報発信・PR(エリア全体)

参考：市民ニーズと整備方針の関係

4. 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成

WSの主な意見	アンケート調査結果から得られた市民ニーズ	県・市の上位関連計画	整備方針（案）	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 周辺道路の照明が少ない ○ 歩道がない箇所や狭い箇所が多い ○ 防犯カメラの設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「歩道のない道路や狭い歩道」(地域住民:24%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 歩いて暮らせるコンパクトな市街地形成(みどり市都市計画マスタープラン) ○ 交通安全施策の充実、歩道の設置、段差解消(みどり市都市計画マスタープラン) 	4. 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成	4-①:人中心の道路空間の再編・整備(エリア全体)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 赤城⇄岩宿⇄阿左美を往来するバスが無く、アクセスが良くない ○ 岩宿遺跡へ駅からバスを出す 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「大間々駅、赤城駅、阿左美駅などへの路線バスがないので使いづらい」(全市民:とてもそう思う、そう思うの回答が65%) 			4-②:拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩宿駅から体育館や公民館、PAL、競艇場につながる歩道を整備してほしい(線路沿いなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「笠懸運動場や市民体育館、笠懸野文化ホール、笠懸公民館などの文化・スポーツ施設が集積」(地域住民14%) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩宿駅からのアクセス向上(みどり市都市計画マスタープラン) 		4-③:スポーツ・健康交流ゾーンとの回遊性の向上(連続した歩道の設置検討)
<ul style="list-style-type: none"> ○ 駅の階段にバリアフリーの機能を付けて、エスカレーターやエレベーターをつけてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「駅舎とエレベーター付きの連絡通路が一体化した橋上駅から改札に行ける」(地域住民:58%、駅利用者:49%) 			4-④:南北通路のバリアフリー化
<ul style="list-style-type: none"> ○ 岩宿駅周辺に南北の横断できる道路が少ない ○ 渡れる箇所も小さな踏切で危険に感じる 				4-⑤:安全な利用に向けた踏切改善

岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン

「整備計画」編

整備計画編 目次

1. 整備計画の概要	45
(1) 整備計画とは	45
(2) 対象とする整備メニュー	45
2. 北口駅前広場の再整備	46
(1) 整備コンセプト	46
(2) 北口駅前広場の施設配置	53
(3) 南口駅前広場の暫定整備イメージ	58
3. 人中心の道路空間の再編・整備（エリア全体）	59
4. 拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化	61
5. 安全な利用に向けた踏切改善	62
6. 整備スケジュール	63
参考：駅の利用実態	64

1. 整備計画の概要

(1) 整備計画とは

- 整備方針のうち、短期的な取組が必要な事項、優先度の高い事項を中心に、具体的な整備に向けた計画を記載しています。なお、整備計画は、市の財源を考慮しながら、関係する事業者等の意向、スケジュールを踏まえ、整備方針をもとに、ワークショップやパブリックコメントで意見を頂きながら、市が策定したものです。

(2) 対象とする整備メニュー

- 整備方針のうち、「短期（5年以内に実施）」に位置付けられた7つの整備メニューを本計画の対象とします。

※1優先度：短期は5年以内に実施、中期は10年以内に実施、長期はそれ以降に実施

※2条件：○優先的な取組 ※□：一体的に行うことで効率的な取組

整備方針	整備メニュー	役割分担				優先度※1			条件※2	
		県	市	民間	市民	短期	中期	長期	市民ニーズ	主体シース
1. 岩宿駅の拠点機能の強化	1-②：北口駅前広場の再整備									
	◎ロータリー方式による駅前広場の再整備検討		●			●				●
	◎駐車場・駐輪場スペースの拡大検討		●			●			●	●
	◎分かりやすいサインの導入検討		●			●				●
4. 安全・快適な道路・交通ネットワークの形成	4-①：人中心の道路空間の再編・整備（エリア全体）									
	◎歩道の整備促進（道路拡幅等）	●	●			●			●	●
	◎街灯や防犯カメラの設置	●	●			●				●
	◎4-②：拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化		●	●		●			●	●
	◎4-⑤：安全な利用に向けた踏切改善		●	●		●			●	●

2. 北口駅前広場の再整備

(1) 整備コンセプト ー整備の基本的な考え方ー

ロータリー方式による駅前広場の再整備検討

安全・安心 駅利用者の安全・安心の確保、バリアフリーへの配慮

ワークショップでは、駅周辺や駅前広場の整備において「安全・安心」を最優先に考えてほしいというご意見を多数いただきました。

一番の弱者となる歩行者の安全性向上を優先に、通学・通勤の自転車、送迎利用の自動車の安全・安心の確保を図ります。

【整備方針】

- ①歩行者の安全・安心を確保するため、駅前広場内の動線の整理及び施設配置の検討により、歩行者空間を確保します
- ②最も利用者の多い自転車利用者の安全に配慮し、安全な通行空間の確保を検討し、自動車及び歩行者との交錯を軽減します
- ③夜間時の利用も考慮し、道路部だけでなく歩道部の照度も確保するよう照明を配置します
- ④誰もが使いやすいバリアフリーな駅前広場とするため、点字ブロックを適切に敷設するとともに、滑りにくい舗装とし、駅舎正面に福祉車両停車スペースを設けます
- ⑤歩道部はセミフラット形式とし、車道と歩道の境界には、タイヤが乗り上げないようにブロックを設置し、歩道と車道を区分し安全に配慮します

2. 北口駅前広場の再整備

駅利用者の利便性向上

現在の駅前広場は、通学・通勤ピークの7時～7時半に送迎車両が多く利用し、駅周辺が混雑している状況です。アンケート調査やワークショップでも、課題として多く指摘されました。

送迎車両の空間を確保することで円滑な駅利用を促進するとともに、公共交通や駅利用者の利便性の向上を図ります。

【整備方針】

- ①ロータリー方式とし、自動車利用の円滑化を図ります
- ②自動車の送迎スペースとして、一般車乗降場や送迎待ちの一般車整理場（駐車場）を配置します
- ③整備メニュー「拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化」に基づくバスの運行を考慮し、バス乗降場を配置します
- ④観光客等の利便性確保として、現状のタクシー乗降場としての機能を確保します
- ⑤駅利用者の待合空間として、シェルター・ベンチ・Wi-Fi・自動販売機等の設置を検討します

【課題】

駅前用地の取得に向けた調整は今後実施することから、望まれる機能全てを十分に満たすことが困難な場合があります。また一般車乗降場は、歩行者の安全確保のための空間・バスやタクシーなどの公共交通の空間を優先した上で、法規を遵守した中で可能な限りの台数確保を検討していきます。

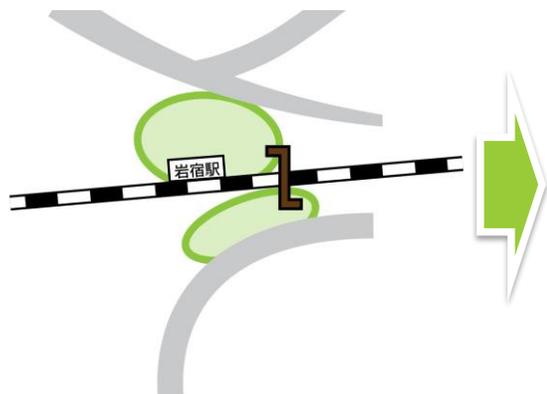
2. 北口駅前広場の再整備

駅南側の開発や駅舎改築を見据えた再整備

【整備方針】

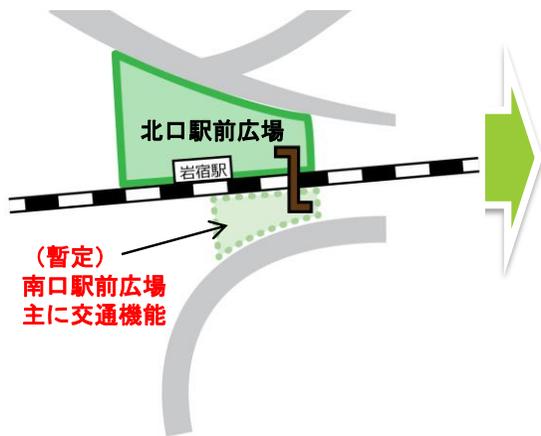
- ① 中・長期の整備メニューに位置付ける南口駅前広場の再整備、駅南口周辺の開発、岩宿駅駅舎のリニューアルを見据え、過度な整備は行わず、将来的な整備の際に手戻りのないよう留意します
- ② 現駅舎と調和したシンプルなデザインを基調とします
- ③ 暫定的に南口駅前広場の交通機能の改善を行い、北口駅前広場との相乗効果による駅機能強化を図ります

【現状】



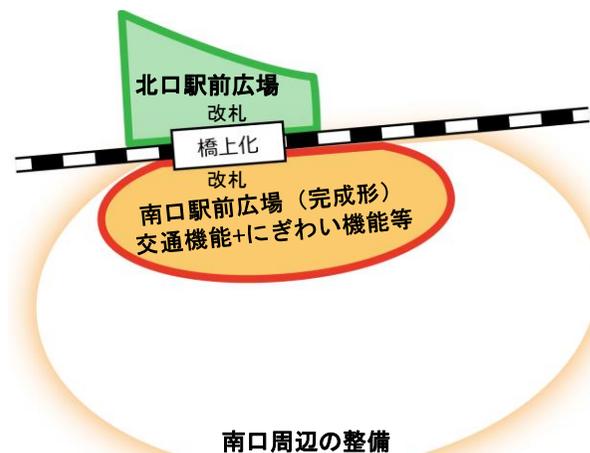
- 北口の送迎者の渋滞、駅利用者の安全対策等の課題
- 南口の整備、橋上化（南北に改札の設置）等に対する要望

【短期】



- 県道拡幅と一体化した北口駅前広場の改修
- 南口の課題解決（安全性・利便性確保）のための暫定整備

【中期～】



- 南口周辺エリアの開発に併せ、駅舎の橋上化、南口駅前広場の改修を一体的に実施

2. 北口駅前広場の再整備

2. 北口駅前広場の再整備

参考) 駅南側の関連整備メニューと南口駅前広場の暫定整備の関係

1-① : 岩宿駅駅舎のリニューアル

【背景】

- 市民からは駅舎の橋上化のニーズが高い
- しかし、駅舎の橋上化は莫大な費用が必要
- 市単独では困難なため、国や鉄道事業者との連携が必要

【国庫補助】

- 駅周辺の都市機能強化等の抜本的な事業化が必要

【鉄道事業者】

- 北口駅前広場整備のみで、駅利用者が増加することは見込めず、沿線の面的開発が必要

1-③ : 南口駅前広場の再整備

中長期的に駅南側周辺の土地活用・都市機能について慎重に議論した上で、駅のリニューアル（橋上化）と、岩宿駅のメインとなる南口駅前広場を一体的に検討することが望ましい。なお、**短期では暫定的な交通機能強化を図る。**

2-④ : BOATRACE桐生の駐車場の有効活用

2-⑤ : 桐生地方卸売市場の活性化

- 駐車場、卸売市場を含めた、駅南側の面的開発について、市全体の都市構造も踏まえ検討
- 市保有地ではないため、関係機関協議も併行して行う
- 現段階での実現は難しいが、市として要望を挙げながら、検討、関係者調整を進める

2. 北口駅前広場の再整備

駐車場・駐輪場スペースの拡大検討

駐車場

駅周辺には月極の民営駐車場が立地していますが、一般利用の駐車場が少なく駅周辺への駐車スペースの確保を要望する意見をアンケート調査、ワークショップ等で頂いています。

【整備方針】

駅前広場周辺に駐車スペースの確保を検討します。なお、駅前広場の交通結節機能、広場機能を優先的に確保し、余剰空間を駐車場スペースとして確保する方針とします

【課題】

駅前用地の取得に向けた調整は今後実施することから、望まれる機能全てを十分に満たすことが困難な場合があります。大幅な駐車容量を確保した場合、一般車が増え公共交通の利用者が減少し、公共交通の運行本数・運行路線の維持が難しくなることも懸念されます。



みどり市営赤城駅西口駐車場

2. 北口駅前広場の再整備

駐輪場

岩宿駅北側には「岩宿駅北口駐車場」、南側には「岩宿駅南口駐車場」が立地しています。岩宿駅の利用者は通学する高校生が多く、自転車が主な移動手段となっています。

そのため、北口については「駐輪場の容量が少ない」、南口では「駐輪場に屋根が欲しい」といった要望をアンケート調査やワークショップ等で多数頂いています。



岩宿駅北口駐車場

上屋は設置されているが、放置自転車も含め飽和状態であり、駐輪容量確保のニーズが高い



岩宿駅南口駐車場

上屋が設置されていない

名称	台数	種類	料金
岩宿駅北口駐車場	380台	自転車・原付 ・自動二輪車	無料
岩宿駅南口駐車場	120台	自転車・原付 ・自動二輪車	無料

平均駐輪台数は「北口：約331台」
「南口：約52台」

【整備方針】

- ①北口、南口とも駐輪場スペースを拡大します
(想定：北口400台、南口150台)
- ②将来の南側開発を見越し、南口は機械式ではなく、撤去・移設の容易性を考慮し、上屋の設置と白線のみとします
- ③設置位置は、駅前広場の自動車・歩行者との交錯等の安全性、駐輪後の駅利用の利便性に配慮して検討します



整備イメージ（阿左美駅駐車場）

2. 北口駅前広場の再整備

分かりやすいサインの導入検討

岩宿駅は、岩宿遺跡など周辺の観光資源を来訪する人にとっての玄関口となります。そのため、駅前広場では、駅周辺エリアの情報提供を充実させる必要性をワークショップ等で提案いただきました。

また、駅前広場の利便性向上のための情報発信も必要です。



現在の北口駅前広場に設置されている総合案内板。「阿左美地区ガイドマップ（左）」と「史跡めぐり散策コース（右）」

【整備方針】

- ①短期では、北口駅前広場整備に併せて、サインを新設します
- ②サインは、駅周辺の施設紹介・駅前広場の配置・乗降場を示すことを検討します
- ③形状やデザインは、阿左美駅のサインと統一することを想定します
- ④デジタルサイネージを設置し、情報提供の充実を図ります
- ⑤設置位置は、利用者の利便性や、自動車・歩行者との交錯等の安全性に配慮して検討します



総合案内板（阿左美駅）



乗降場を示す標柱
（阿左美駅）



デジタルサイネージ
（阿左美駅）

2. 北口駅前広場の再整備

(2) 北口駅前広場の施設配置

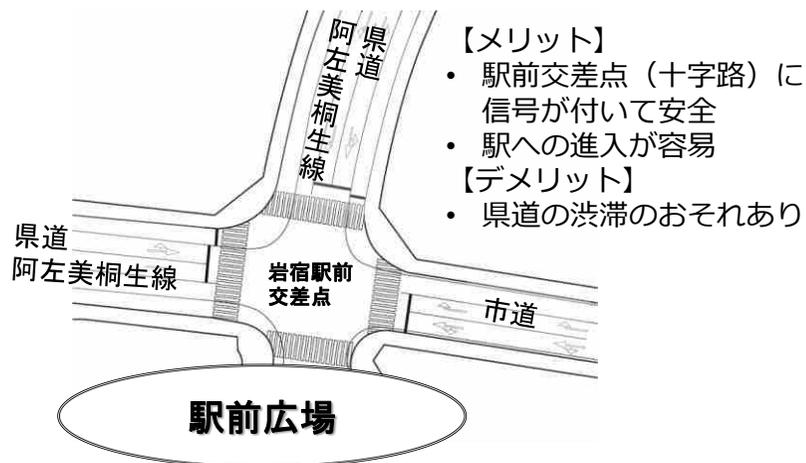
北口駅前広場の整備に当たっては、現在検討が進められている岩宿駅前交差点改良事業を考慮する必要があります。岩宿駅前交差点から十字路で駅前広場に入る「十字路」案と、岩宿駅前交差点から新設される市道のT字路を通り駅前広場に入る「T字路」案が想定されます。

十字路案

(県道から十字路で駅広にアクセス)

【ポイント】

四肢の交差点からアクセス可能なため、信号を厳守すれば、安全性が担保されます。ただし、県道の渋滞発生に影響がないかが危惧されます。

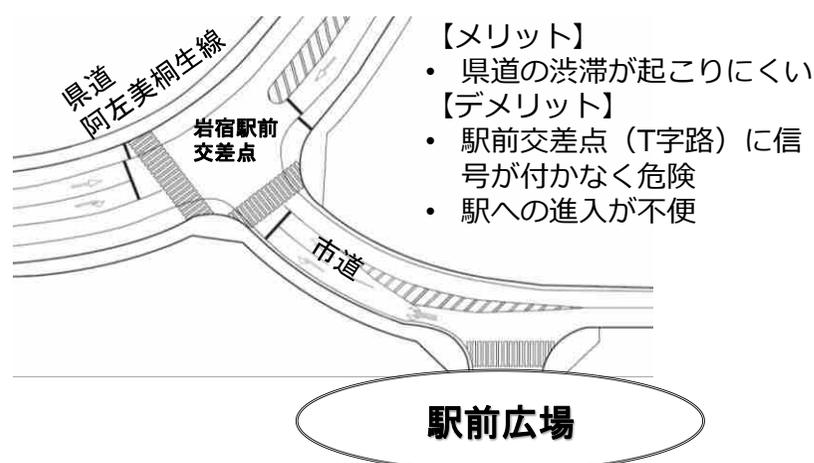


T字路案

(市道からT字路で駅広にアクセス)

【ポイント】

県道に影響はありませんが、明確な交差点ではないため、自動車の安全性、歩行者・自転車との交錯が危惧されます。



【整備方針】

ワークショップでは、「十字路」案が望ましいという意見が多い結果でした。今後、県・警察等と協議しながら「十字路」案を前提として、北口駅前広場の整備について検討していきます。

2. 北口駅前広場の再整備

十字路案（駅前広場）

【面積】

駅前広場：4,130m²

駐車場：880m²

駐輪場：850m²

バス乗降：2台

福祉車両乗降：1台

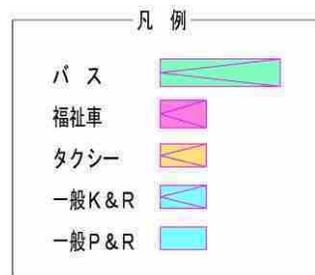
タクシー乗降：2台

タクシー待機：2台

一般送迎車乗降：4台

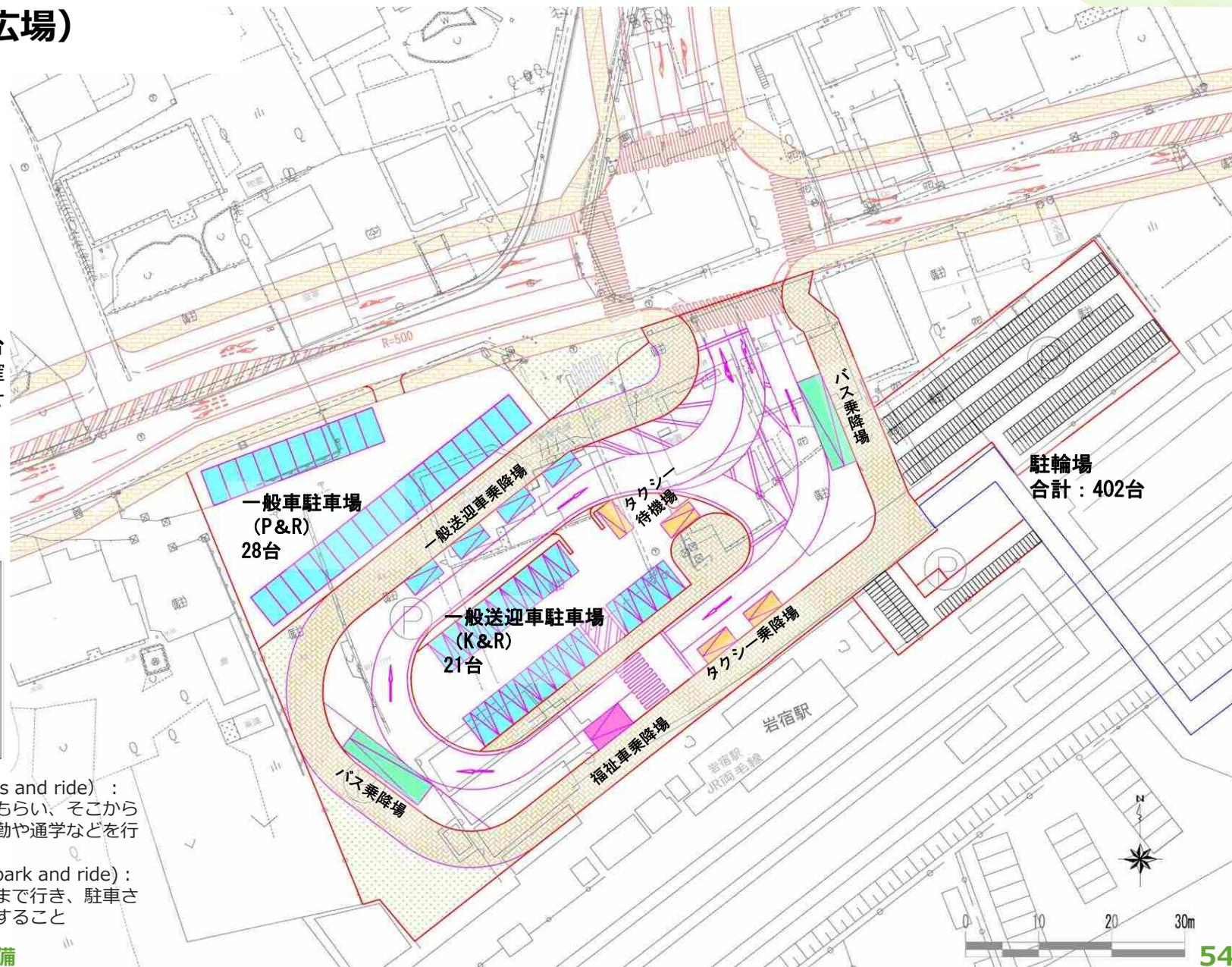
一般送迎車駐車場：21台

注）概略検討のため、確定したものではありません



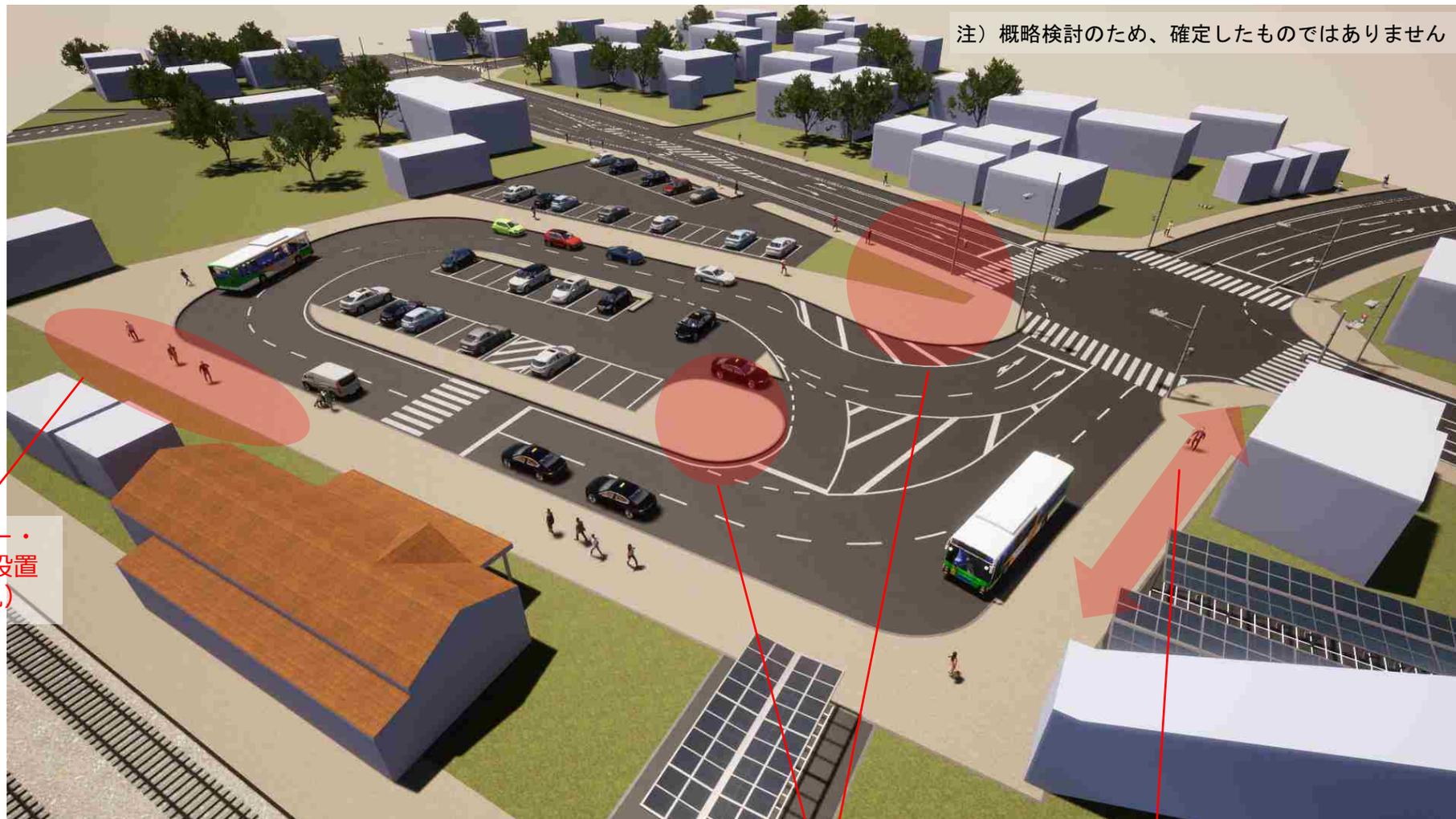
※K&R（キスアンドライド/kiss and ride）：
家族等に最寄駅まで送迎してもらい、そこから公共交通機関に乗り換えて通勤や通学などを行うこと

※P&R（パークアンドライド/park and ride）：
自宅から自家用車で最寄駅まで行き、駐車させた後、公共交通機関を利用すること



2. 北口駅前広場の再整備

十字路案 (イメージ図)



シェルター・ベンチの設置 (WS意見)

オープンスペースにオブジェ・植栽等を配置 (WS意見)

駐輪場まで自転車が安全に通行できる空間を (WS意見)

2. 北口駅前広場の再整備

T字路案（駅前広場）

【面積】

駅前広場：4,070m²

駐車場：1,610m²

駐輪場：980m²

バス乗降：1台

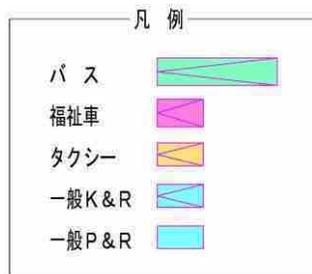
福祉車両乗降：1台

タクシー乗降：2台

タクシー待機：3台

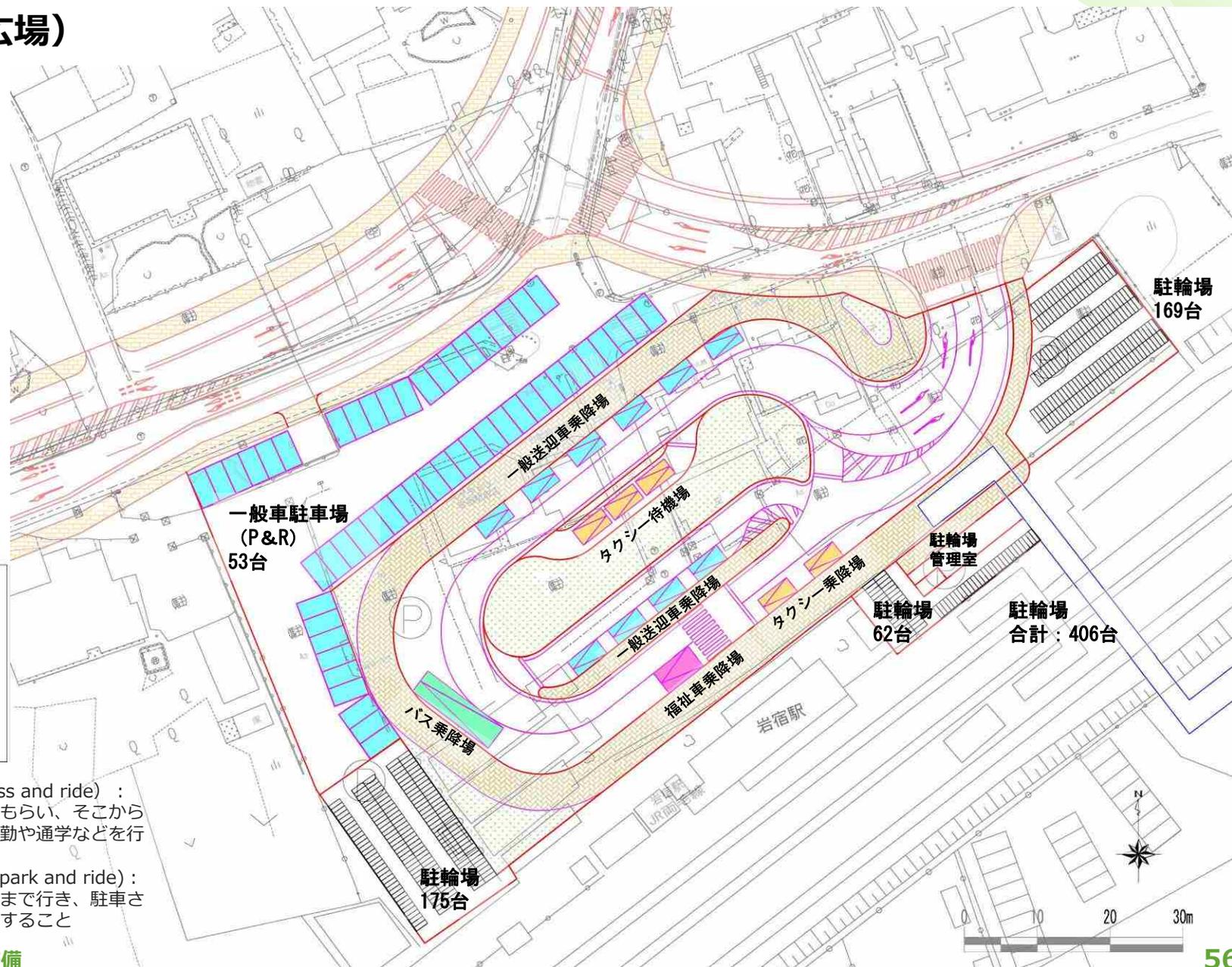
一般送迎車乗降：10台

注) 概略検討のため、
確定したものではありません



※K&R（キスアンドライド/kiss and ride）：
家族等に最寄駅まで送迎してもらい、そこから公共交通機関に乗り換えて通勤や通学などを行うこと

※P&R（パークアンドライド/park and ride）：
自宅から自家用車で最寄駅まで行き、駐車させた後、公共交通機関を利用すること



2. 北口駅前広場の再整備

T字路案 (イメージ図)



2. 北口駅前広場の再整備

(3) 南口駅前広場の暫定整備イメージ

【整備方針】

- ①ロータリー方式とし、自動車利用の円滑化を図ります
- ②自動車の送迎スペースとして、一般車乗降場を配置します
- ③整備メニュー「拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化」に基づくバスの運行を考慮し、バス乗降場を配置します
- ④駐輪場には上屋を設置します

【課題】

駅前用地の取得に向けた調整は今後実施することから、望まれる機能全てを十分に満たすことが困難な場合があります。



3. 人中心の道路空間の再編・整備（エリア全体）

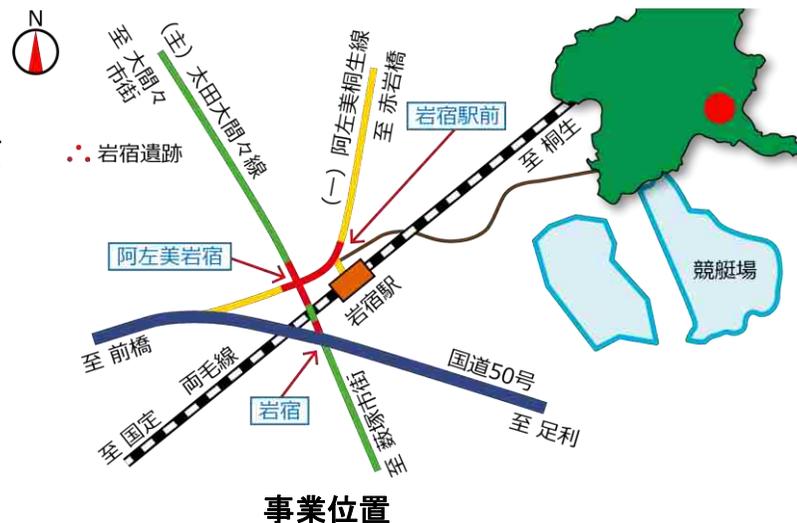
歩道の整備促進（道路拡幅等）

岩宿駅周辺の道路は、狭あい区間や歩道未設置区間が多く、歩行者・自転車の安全性を確保した安心して移動できる歩行空間の確保が、アンケート調査やワークショップからまちの課題として多く指摘されました。

県道太田大間々線（岩宿交差点）交差点改良事業

【整備方針】

- ① 岩宿交差点（完了）、阿左美岩宿交差点、岩宿駅前交差点の改良により、渋滞を解消し、円滑な交通を確保します
- ② 岩宿駅前交差点の改良に当たっては、北口駅前広場整備と連携しながら事業を進めます
- ③ バリアフリー法に基づく幅員2m以上の歩道を確保し、自転車が安全に通行できる空間を整備します



市道

【整備方針】

- ① 自動車交通量や通学路等の利用者が多く、市民要望が高い区間を優先して、歩行者が安全に通行できる道路改良の検討を速やかに進めます
- ② 自動車の交通円滑化に考慮しながら、沿道住民、地権者等と協議し、歩行者や自転車の安全な通行空間の確保方策を段階的に検討します



歩道未設置区間を通学する児童

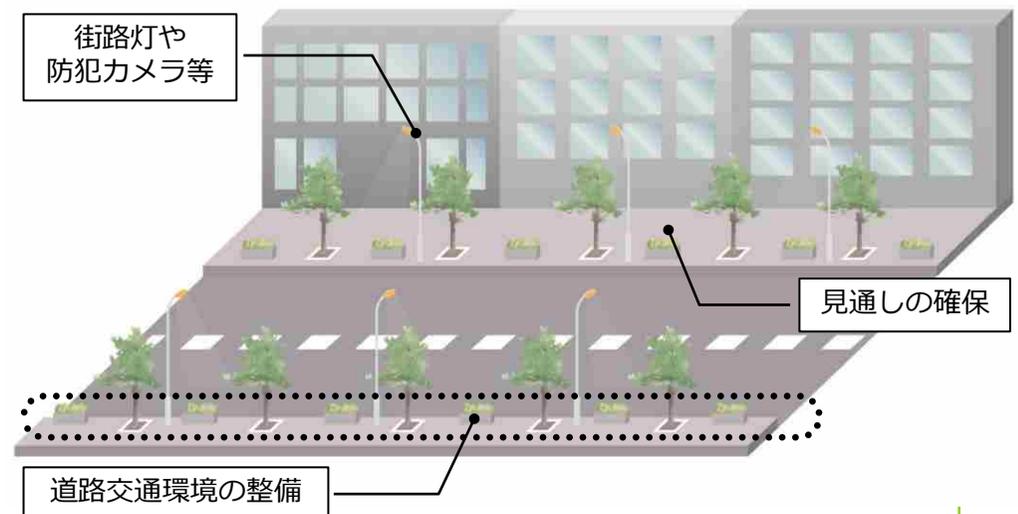
3. 人中心の道路空間の再編・整備（エリア全体）

街灯や防犯カメラの設置

人中心の道路空間の再編・整備に当たっては、交通安全の観点だけでなく、防犯に配慮した道路整備を進めることで、安全・安心なまちづくりに寄与することができます。そのため、道路整備に当たっての防犯の観点からの留意事項を以下に示します。

【整備方針】

- ① 照明灯・街路灯・防犯灯などにより夜間における適切な明るさを確保します。その際には沿道への光害に注意します。また、沿道住民の理解と協力を得て、門灯の点灯を呼びかけること等も検討します
- ② 「防犯カメラの設置及び運用に関するガイドライン（群馬県）」や「みどり市内主要駅における防犯カメラ運用要領（みどり市）」等を参考に、防犯カメラの設置を検討します
- ③ 道路の構造、周辺の状態等を勘案し、可能な限り、ガードレール、歩道柵、植栽等により歩道と車道を分離します
- ④ 工作物等（看板、道路標識等）の設置や道路の植栽が道路の見通しを妨げないように配慮します



4. 拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化

みどり市は、JR 両毛線・東武鉄道桐生線・上毛電気鉄道・わたらせ渓谷鐵道の4路線が乗り入れており、広域移動の核が複数存在する恵まれた交通環境のポテンシャルを持っています。しかし、これらの広域移動拠点間をつなぐ公共交通が存在しません。自動車を保有しなくても、誰でも気軽に移動でき、住み続けられるまちを実現するために、公共交通ネットワークの強化が求められています。

【整備方針】

- ①大間々駅から阿左美駅までの定時定路線バス実証運行（令和5年1～3月実施）の結果を通じて、実証運行継続について検討を進めます
- ②検討に当たっては、利用者ニーズに配慮するとともに、交通事業者との連携・調整を図っていきます



路線バス試乗会の状況



試乗会後の意見交換会



実証運行のルート

5. 安全な利用に向けた踏切改善

岩宿駅東側に位置する踏切道（広沢道踏切）は、幅員が狭く、自動車の対面通行が困難なため、ボトルネックとなっています。さらに、通学路に位置していますが、踏切上に歩道がなく、児童の通学時に危険な状況となっています。

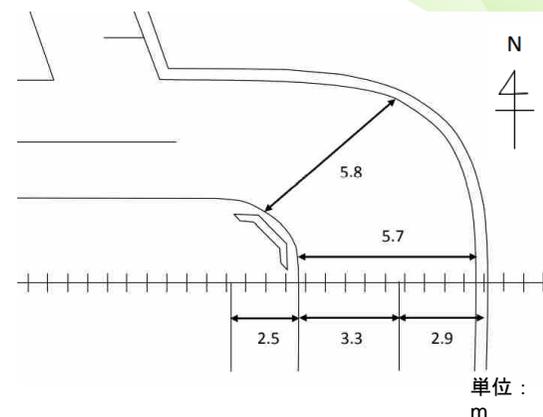
アンケート調査やワークショップでも本踏切の改善要望が多く出されました。



広沢道踏切の状況



朝の通学時の踏切の状況



広沢道踏切の道路現況

【整備方針】

- ①踏切道改良促進法に基づき設置された国、県、市、鉄道事業者等で構成される「群馬県踏切道改良協議会合同会議」において、広沢道踏切は、未指定の緊急に対策の検討が必要な踏切として位置付けられ、検討が進められています
- ②市道の改良と併せて、踏切道内の歩道の新設等による拡幅により、自動車との接触事故、線路内への転落防止、自動車と歩行者・自転車の分離によるスムーズな自動車の通過等を図っていきます



改善前



改善後

【踏切改善事例】福島県郡山市

<https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/123/6617.html>

6. 整備スケジュール

整備メニュー	実施主体	短期					中期～
		R5	R6	R7	R8	R9	R10～
1-②：北口駅前広場の再整備							
ロータリー方式による駅前広場の再整備検討	みどり市	設計	用地交渉		工事	完了	供用開始
駐車場・駐輪場スペースの拡大検討	みどり市						
分かりやすいサインの導入検討	みどり市		関係者調整等				
4-①：人中心の道路空間の再編・整備（エリア全体）							
歩道の整備促進 （道路拡幅等） <small>・主要施設をつなぐ道路ネットワークの検討・整備 ・歩道の整備促進 ・県道阿左美桐生線拡幅等</small>	群馬県 みどり市	整備箇所 検討	設計	用地交渉	工事	完了	供用開始
街灯や防犯カメラの設置	みどり市						
4-⑤：安全な利用に向けた踏切改善	みどり市 JR		検討・関係者 調整等	基本設計	詳細設計	工事	完了 供用開始
4-②：拠点ゾーン間の公共交通ネットワークの強化	みどり市	実証 運行	運行開始・適宜見直し				

注) 関係者協議等により変更になる場合があります。

参考：駅の利用実態

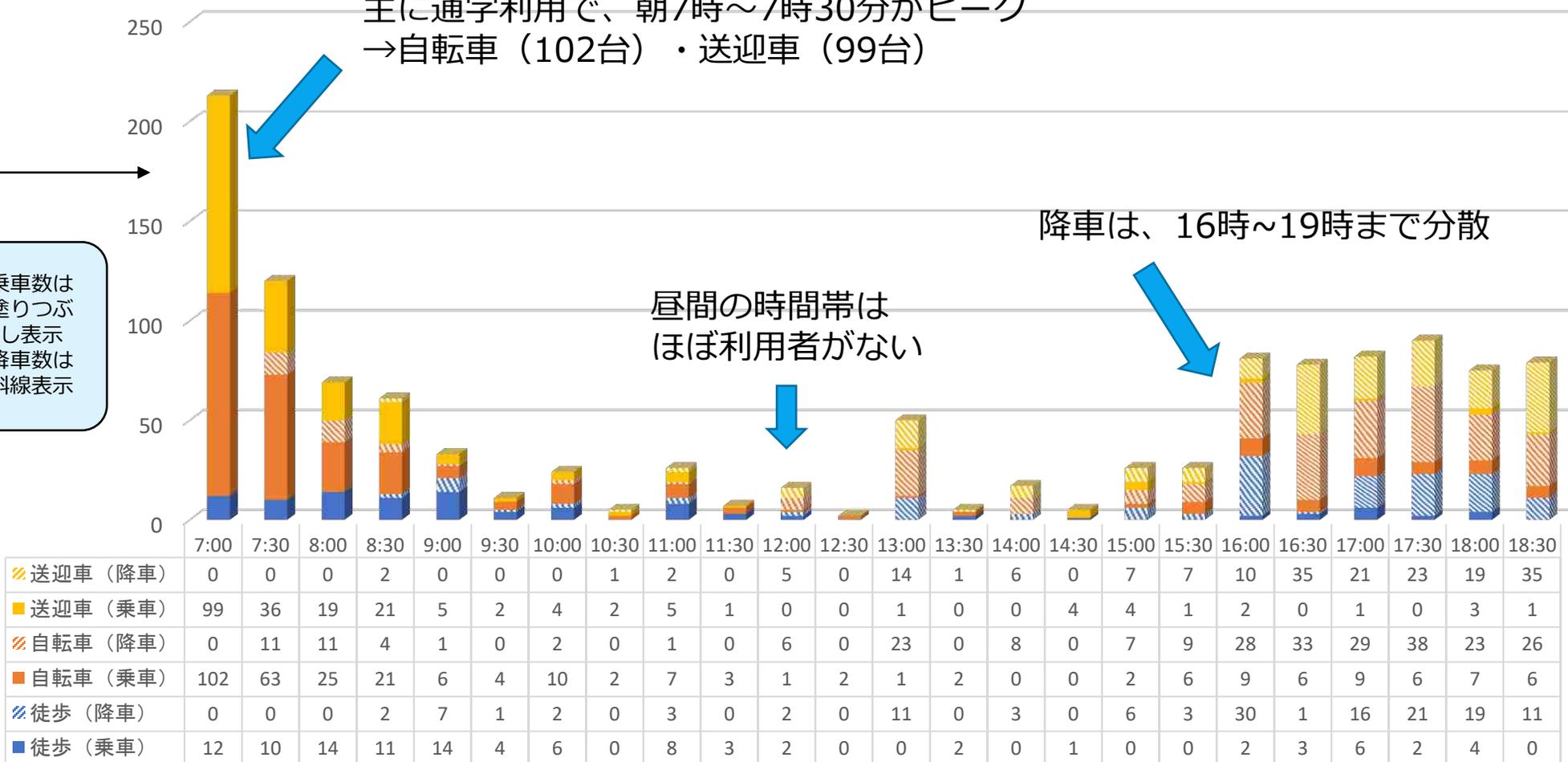
参考：岩宿駅の利用実態 北口駅前広場の時間帯別利用状況(平日)

主に通学利用で、朝7時～7時30分がピーク
→自転車（102台）・送迎車（99台）

降車は、16時～19時まで分散

昼間の時間帯は
ほぼ利用者がいない

乗車数は塗りつぶし表示
降車数は斜線表示



■ 徒歩（乗車） ▨ 徒歩（降車） ■ 自転車（乗車）
▨ 自転車（降車） ■ 送迎車（乗車） ▨ 送迎車（降車）

北口（2022年5月20日（金） 天気：晴れ）

参考：駅の利用実態

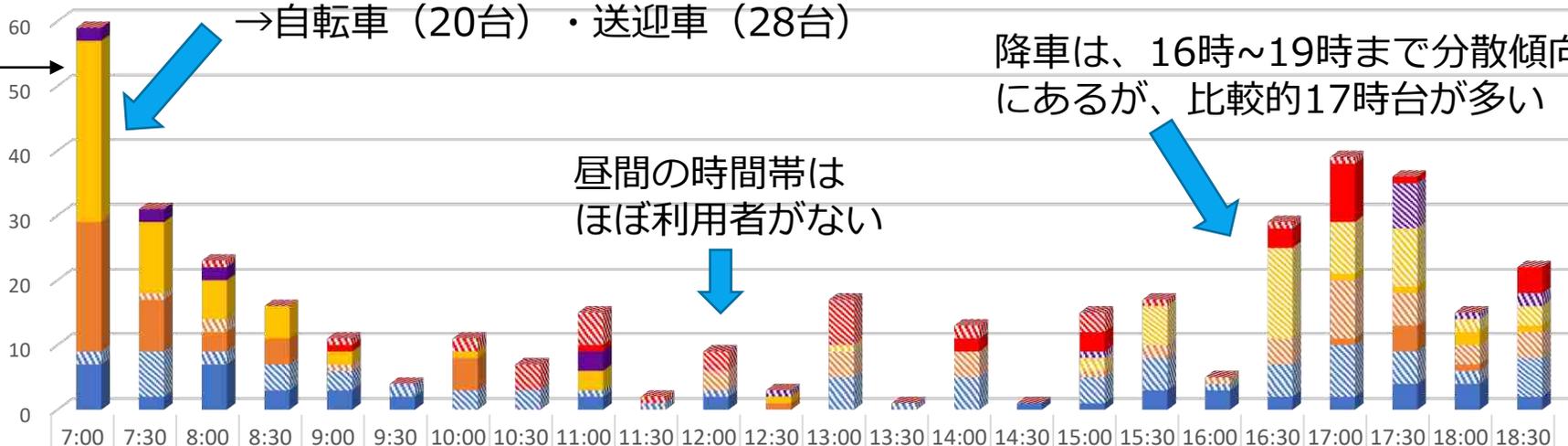
参考：岩宿駅の利用実態 南口駅前広場の時間帯別利用状況(平日)

主に通学利用で、朝7時～7時30分がピーク
→自転車（20台）・送迎車（28台）

降車は、16時～19時まで分散傾向にあるが、比較的17時台が多い

昼間の時間帯は
ほぼ利用者がいない

乗車数は
塗りつぶし表示
降車数は
斜線表示



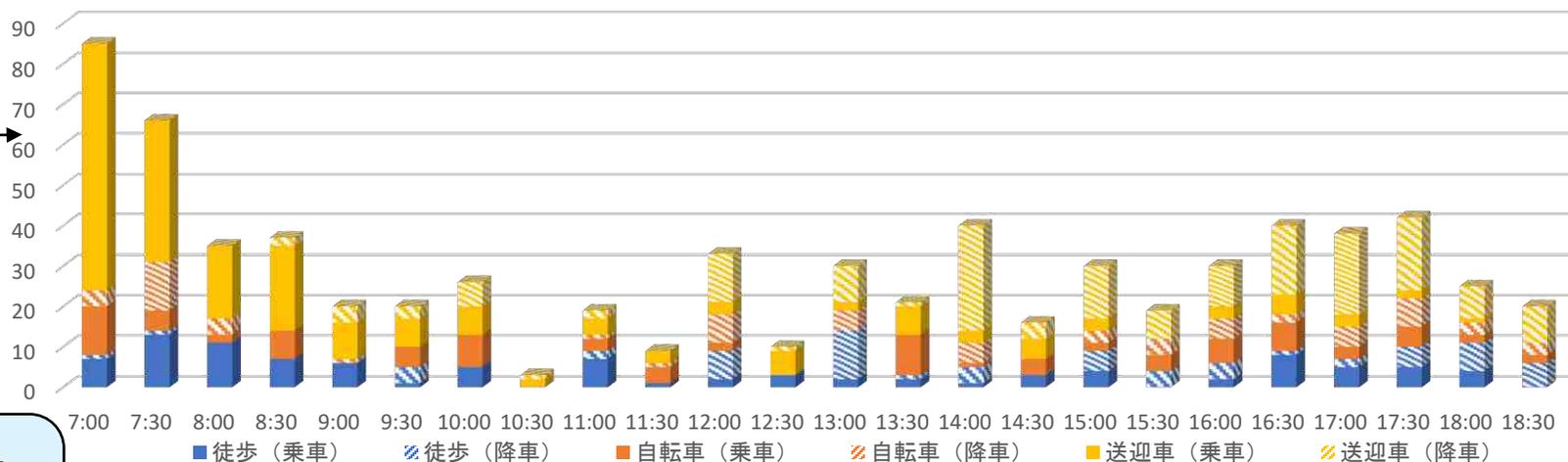
	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30	18:00	18:30
バス（降車）	0	0	1	0	1	0	2	4	5	1	3	0	7	0	2	0	3	1	0	1	1	0	0	0
バス（乗車）	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0	0	3	9	1	0	4
自家用車（降車）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	7	1	2
自家用車（乗車）	2	2	2	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
送迎車（降車）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	6	0	14	8	9	2	3
送迎車（乗車）	28	11	6	5	2	0	1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1
自転車（降車）	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	3	0	4	0	4	0	1	2	1	4	9	5	3	4
自転車（乗車）	20	8	3	4	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	0
徒歩（降車）	2	7	2	4	3	2	3	3	1	1	1	0	5	1	5	0	4	5	1	5	8	5	2	6
徒歩（乗車）	7	2	7	3	3	2	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	3	3	2	2	4	4	2

■ 徒歩（乗車） ▨ 徒歩（降車） ■ 自転車（乗車） ▨ 自転車（降車） ■ 送迎車（乗車）
▨ 送迎車（降車） ■ 自家用車（乗車） ▨ 自家用車（降車） ■ バス（乗車） ▨ バス（降車）

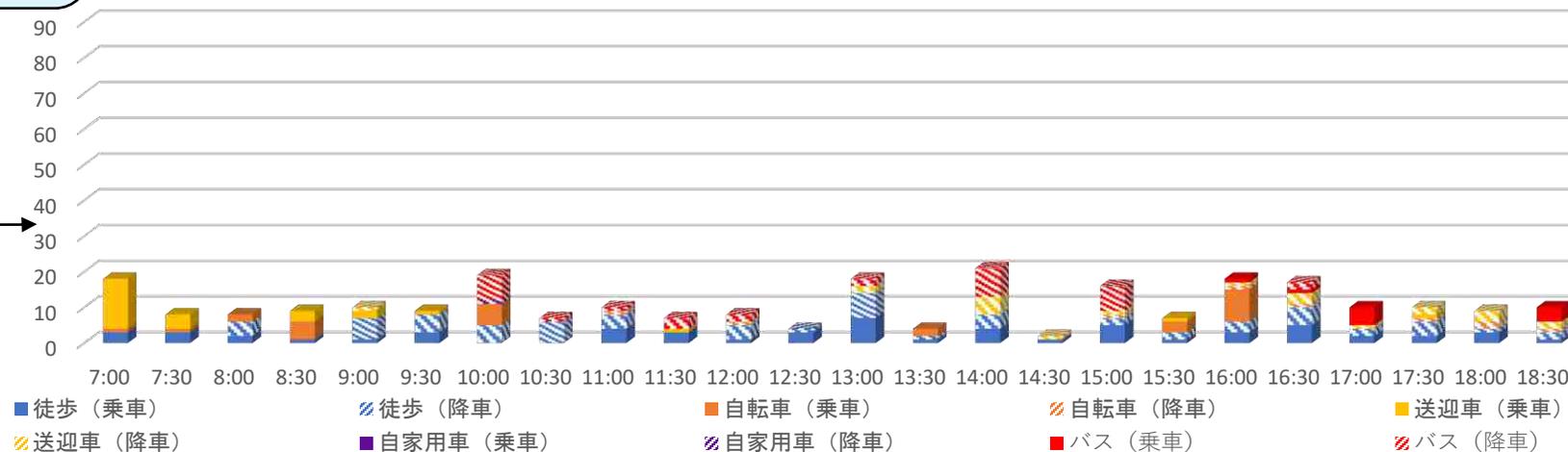
南口（2022年5月20日（金） 天気：晴れ）

参考：駅の利用実態

参考：岩宿駅の利用実態 南北駅前広場の時間帯別利用状況(休日)



北口 (2022年5月21日 (土) 天気：曇り/小雨)



南口 (2022年5月21日 (土) 天気：曇り/小雨)

参考：駅の利用実態

参考：岩宿駅の利用実態 駐輪場

平日の駅別駐輪台数（台）

	岩宿駅(北口)	岩宿駅(南口)	阿左美駅(新)	赤城駅(西口)	赤城駅(東口)	大間々駅	阿左美駅(仮設)
月	343.30	54.48	59.67	66.31	50.38	43.04	29.42
火	330.71	50.43	55.80	61.27	51.53	40.16	28.47
水	327.73	52.23	56.24	60.37	49.20	41.02	29.68
木	327.72	51.60	54.52	61.93	50.35	40.98	28.95
金	327.67	49.59	54.98	62.05	47.89	40.18	30.29
平日の駐輪台数	331.4	51.7	56.2	62.4	49.9	41.1	29.3

平日の天候・駅別駐輪台数平均（台）

	岩宿駅(北口)	岩宿駅(南口)	阿左美駅(新)	赤城駅(西口)	赤城駅(東口)	大間々駅
晴・くもり	341.8	53.6	58.6	65.0	52.2	42.2
それ以外	265.2	39.2	41.4	46.1	36.0	34.2
合計	331.4	51.7	56.2	62.4	49.9	41.1
晴の日に対する割合	77.6%	73.0%	70.6%	70.9%	69.0%	81.0%

「晴れ・くもり」の日以外は、自転車の約3割が移動手段を転換（もしくは利用しない）
 他駅と比較すると利用しない割合は低い（雨天時でも自転車を利用）＝学生利用が多いためと想定され、
 より一層の安全対策が必要と考えられる